

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	01
担当教員	秋山 孝信	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 本講義から得られた知識と教養に基づいて、誠実な姿勢で言語の研究を進めることができる。 2. 英語と日本語の分析をとおして、両言語の特性を説明することができる。 3. 言語学の知見を援用して自分の意見を効果的に伝達し、また他者の意見を尊重することができる。 4. 他者と共通の目的を設定し、互いに協力しながら目的を遂行することができる。 5. TOEIC の受験対策を行うことによって、英語自主学习の方法を検討・改善することができる。 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、英語と日本語を用いる際に適用される意味的原理について検討を進めます。前期は、言語の意味・用法を研究する際に必要とされる言語学の基本概念を学習します。ここでは、ゼミ生による討議を中心に理解を深めていながら、論理的思考力・説明力を鍛えます。また、言語の実証的研究に欠かせない「コーパスデータ」の検索方法も学びます。後期は、指定文献を割り振り、その内容についてプレゼンテーションを行います。ゼミナールのガイダンスは、1 年次春期休暇中に行います。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	効果的な情報伝達について	言語学（意味論・語用論）の理論に基づき、効果的な情報伝達について議論します。特に「価値のある情報」とはどのような伝達内容であるのか、また「相手が理解しやすい情報の配列」とはどのようなものであるのかについて討議を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 2 回	プレゼンテーションについて	プレゼンテーションの方法について説明・討議を行います。特に、発表用資料（PPT, ハンドアウト）の作成方法を学びます。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 3 回	レポートの書き方について	レポートの構成の仕方、表現方法などについて説明・討議を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 4 回	英語意味論における基本概念の学習と討議①	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 5 回	コーパス検索方法	コーパス（言語のデータベース）の検索方法と活用の仕方について演習を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 6 回	英語意味論における基本概念の学習と討議②	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。

第 7 回	英語意味論における基本概念の学習と討議③	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 8 回	英語意味論における基本概念の学習と討議④	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 9 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑤	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 10 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑥	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 11 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑦	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 12 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑧	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 13 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑨	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。

		理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 14 回	英語意味論における基本概念の学習と討議⑩	英語意味論における基本概念を学習し、討議を行って理解を深めます。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 15 回	遠隔プレゼンミーティングについて	ゼミ夏合宿の代替で行う遠隔プレゼンミーティングについて議論します。夏季休暇中も指導を行います。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードして読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業内の解説と討議をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 16 回	指定文献担当箇所の発表と討議①	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 1 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 17 回	指定文献担当箇所の発表と討議②	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 2 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 18 回	指定文献担当箇所の発表と討議③	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 3 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 19 回	指定文献担当箇所の発表と討議④	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 4 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。

第 20 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑤	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 5 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 21 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑥	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 6 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 22 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑦	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 7 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 23 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑧	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 8 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 24 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑨	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 9 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 25 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑩	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 10 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 26 回	指定文献担当箇所の発表 と討議⑪	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 11 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握し

		ておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 27 回	指定文献担当箇所の発表と討議⑫	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 1 2 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 28 回	指定文献担当箇所の発表と討議⑬	指定文献の担当箇所についてプレゼンテーションを行い、その内容について討議を行います。また、TOEIC リスニングの演習を行います。 【事前学習】2 時間 指定文献における第 1 3 章を読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 29 回	振り返りとまとめ	今年度の学習内容を振り返り、言語学の理解を深めて、次年度の学習活動につなげます。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードし、読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。
第 30 回	キャリア形成について	3 年次のキャリア形成について話し合いをします。特に SPI をはじめとする適性検査に重点を置きます。 【事前学習】2 時間 授業用ハンドアウトを Google Classroom よりダウンロードし、読んでおく。理解できる部分と疑問点を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 教員の説明とゼミ生との議論をとおして学んだことをまとめる。疑問点が残っていれば、教員に質問すること。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	25%	0%	50%	25%	100%
評価の特記事項					
評価方法における「レポート」とは、学年末課題レポートを指します。「その他」は、プレゼンテーションの質（発表用資料、口頭発表の仕方など）を指します。					

テキスト
野村益寛,『ファンダメンタル認知言語学』, ひつじ書房, 1600 円 + 税
参考文献
オフィスアワー
月曜日 15 : 00 ~ 16 : 00。事前にメールでアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
一つ疑問点を持ち始めたら, 納得する解答が得られるまで徹底的に調査する粘り強さを身につけてください。また、討議における積極的な発言を期待しています。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	03
担当教員	伊佐敷 隆弘	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミの研究テーマは「哲学」である。哲学とは、「私たちの生活や学問の前提になっている根本的な概念（意識・時間・規範・記憶・意味・自由・物質」など）に関して、深い理解を得ることをめざす学問」である。このゼミでは、ディスカッションやテキスト講読を通して、私たち自身と世界について哲学的に深い理解を得ることをめざす。 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミで、参加者は自由な発想にもとづいて自分の考えを積極的に述べあい、「なぜそのように考えるのか」を説明しあう。積極的な発言と自由な議論によって思考をきたえていく。 前期は、KJ 法やディベートによって考えを筋道立てて述べる訓練をおこなう。最後にネーゲルのテキストを読んで哲学的思考に触れる。（KJ 法のテーマはゼミ生の希望によって変更する場合がある。） 後期は、各ゼミ生が夏休み中に読んだ本を後期第 1 回のゼミで報告し、ゼミ生の投票によって後期に読むテキストを決める。当番がテキストの内容を報告し、エコリンクの「復習課題」に各人が考えたことを記入し、次回ゼミで「復習課題まとめ」プリントを元に議論する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ゼミの進め方についての説明	ゼミの進め方について教員が説明する。ゼミ生が自分の関心について説明する。 【事前学習】2 時間。シラバスを読んで、授業内容を把握しておく。 【事後学習】2 時間。授業内容、授業の進め方について復習しておく。
第 2 回	KJ 法の練習	「人生の意味は何か」というテーマを用いて KJ 法の練習をおこなう。 【事前学習】2 時間。「人生の意味は何か」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 3 回	KJ 法を用いたディスカッション（1）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 「年を取ることはよいことか、悪いことか」というテーマについて KJ 法を用いて全員で議論する。 【事前学習】2 時間。「年を取ることはよいことか、悪いことか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 4 回	KJ 法を用いたディスカッション（2）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 「結婚と独身、どちらが幸せか」というテーマについて KJ 法を用いて全員で議論する。 【事前学習】2 時間。「結婚と独身、どちらが幸せか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 5 回	KJ 法を用いたディスカッション（3）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 「自由は本当によいことか」というテーマについて KJ 法を用いて全員で議論する。 【事前学習】2 時間。「自由は本当によいことか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 6 回	KJ 法を用いたディスカッション（4）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 「自殺は間違っているか」というテーマについて KJ 法を用いて全員で議論する。 【事前学習】2 時間。「自殺は間違っているか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 7 回	ディベート（1）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 2 つのチームに分かれ、「死刑制度は廃止すべきか」というテーマについてディベートをおこなう。 【事前学習】2 時間。「死刑制度は廃止すべきか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 8 回	ディベート（2）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 2 つのチームに分かれ、与えられたテーマについてディベートをおこなう。 【事前学習】2 時間。プリントを確認しておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 9 回	ディベート（3）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 2 つのチームに分かれ、「高齢者の運転免許は返上させるべきか」というテーマについてディベートをおこなう。 【事前学習】2 時間。「高齢者の運転免許は返上させるべきか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。今日の社会契約論の説明を復習しておく。
第 10 回	ディベート（4）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 2 つのチームに分かれ、「同性婚を認めるべきか」というテーマについてディベートをおこなう。 【事前学習】2 時間。「同性婚を認めるべきか」について考えておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 11 回	ネーゲルの論文「死」の講読	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。

	(1)	ネーゲルの論文「死」の①～④段落を読む。当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 12 回	ネーゲルの論文「死」の講読 (2)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 ネーゲルの論文「死」の⑤～⑨段落を読む。当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 13 回	ネーゲルの論文「死」の講読 (3)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 ネーゲルの論文「死」の⑩～⑫段落を読む。当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 14 回	ネーゲルの論文「死」の講読 (4)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 ネーゲルの論文「死」の⑬～⑮段落を読む。当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 15 回	ネーゲルの論文「死」の講読 (5)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 ネーゲルの論文「死」の⑯～⑳段落を読む。当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。前期の学習内容を復習し、自分の疑問点がどこまで解決したかチェックしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 16 回	後期テキストの決定	夏休み中に読んだ哲学書を各自がプレゼンし、後期のテキストを投票によって決定する。 【事前学習】2 時間。夏休み中に自分が読んだ哲学書の内容を要約し、プレゼンの準備をしておく。 【事後学習】2 時間。選ばれなかったテキストについても自分が興味を持った哲学書について調べる。
第 17 回	後期テキストの講読 (1)	今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 18 回	後期テキストの講読 (2)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 19 回	後期テキストの講読 (3)	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。

[illegible]

第 28 回	後期テキストの講読（12）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 29 回	後期テキストの講読（13）	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今日の当番のゼミ生がテキストの担当部分を説明し、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。当番はテキストの担当部分について調査し、内容の要約をしておく。他のゼミ生は同じ部分を読んで、自分の疑問点を明らかにしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。
第 30 回	ゼミ全体を振り返った議論	前回の「復習課題」まとめプリントを元に議論する。 今年度のゼミ全体を振り返り、全員で議論する。 【事前学習】2 時間。今年度の学習内容を復習し、自分の疑問点がどこまで解決したかチェックしておく。 【事後学習】2 時間。エコリンクの「復習課題」に記入する。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	25%	25%	100%
評価の特記事項					
レポートは年度末に書く。評価方法の「その他」は毎回書く「復習課題」（エコリンク）のこと。					

テキスト
教員がプリントを配布する。
参考文献
授業中に指示する。
オフィスパワー
受講生から教員にメールで連絡し、随時設定する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは受講生の積極的な参加によって成り立ちます。できるだけ欠席しないようにして、授業中は積極的に発言するように心がけましょう。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	04
担当教員	位田 将司	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、理論的で創造的な書籍やテキストを読み、それを理解し、レジュメを用いてゼミ発表ができるようになることを目標とします。また、ゼミ発表によってゼミ生同士が議論を重ね、その成果をレポート・論文として、自らの考えを文章化することができるようになることも目標とします。ゼミナールは学生と教員が議論しながら、学問を通して交流する場でもあります。その交流を通して、理論的に物事を考えることができるようになります。 対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは主に文学理論と文学作品を通して、理論的にテキストを読む訓練をします。また、理論を通して芸術やエンターテインメントを分析することで、社会の仕組みのより豊かな理解を目指します。文学や芸術、エンターテインメントを理論的に分析することにより、「批判的」そして「批評的」に社会や世界を見ることができるようになります。ただ、「批判的」や「批評的」というのは、社会を新しい切り口で見ることであって、欠点をあげつらうことでは決してありません。ゼミ生が新しい視点で社会や世界を解釈できるようにするのが、本ゼミナールの目的です。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	ゼミナールの基本的な進め方を解説します。ゼミ生同士の顔合わせ。 【事前学習】2 時間 事前のゼミ連絡を把握しておく。 【事後学習】2 時間 ゼミナールの基本ルールを確認しておく。
第 2 回	ゼミ発表への準備	ゼミ発表の仕方を解説します。教員の模擬発表を聞き、レジュメ作成の方法、ゼミ発表の仕方を実際に体験する。 【事前学習】2 時間 課題テキスト・課題書籍を読んで予習する。 【事後学習】2 時間 実際に体験したゼミ発表の方法を確認し、レジュメの作り方を実際に復習する。
第 3 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。

		【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前期のまとめ	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読

		指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	ゼミ発表	文学・文学理論・創作についてのテキストを輪読 指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	ゼミのまとめ	これまでのゼミの議論を振り返る。 【事前学習】2 時間 これまでの各人のゼミ発表を振り返り、レジュメを読む。 【事後学習】2 時間

		一年間のゼミで研究したことを踏まえながら，学年末論文の準備をおこなう。
--	--	-------------------------------------

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
ゼミナールでは出席とゼミ発表，学年末の論文を総合的に評価します。					

テキスト
ゼミ生と相談をして年間を通して輪読するテキストを決定します。
参考文献
適宜指示します。
オフィスアワー
火曜日：15：00～（必ず事前にアポイントを取ってください）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
出席とゼミ発表，論文の執筆はゼミの義務です。必ず責任をもって実行してください。また，ゼミの「行事」にも積極的に取り組んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	05
担当教員	卜部 勝彦	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 4	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、ゼミ生が以下の 1 ～ 5 の項目について達成できることを目標としている。 1. 日本の国土について地理学的な解釈や説明ができる。 2. 地域の産業・文化・景観・環境について地理学的な課題を設定し解決することができる。 3. 研究においてグループワークやチームワークによる課題解決ができる。 4. 地理学的分析結果を駆使してプレゼンテーションや報告書・論文等の執筆ができる。 対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、地表面の多様な地理的事象を多角的に分析・考察する地理学分野，または教職としての教科教育すなわち中学や高校の地理教育分野において，地域の産業・文化・景観・環境を“フィールドワーク”を主体に研究を行う。扱うテーマは多岐にわたり，1) 農業・工業・商業・観光・交通など産業を扱う経済地理学的研究，2) 都市や農山村問題などを扱う都市地理学や農村地理学的研究，3) 文化的景観も考慮したまちづくりを扱う歴史地理学・文化地理学的研究，4) 地域の環境問題を扱う環境地理学的研究，5) 中学・高校地理における教科指導法や教材開発を扱う地理教育などが，本ゼミナールでの研究対象となる。教養研究（一）では，具体的な「地域」を考察対象とするフィールドワークをはじめ，地図や空間データの分析，地図作成について基礎的なミッションをグループワークでの共同作業を通して遂行する。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	地域へのまなざし（1）	具体的な地域について予察するための「地理院地図」の基本操作について学習する。 【事前学習】2 時間 国土地理院の Web サイト「地理院地図」にアクセスして各自が操作しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業で紹介した「地理院地図」の操作方法について復習しておくこと。
第 2 回	地域へのまなざし（2）	ゼミ生ゆかりの地域について「地理院地図」でプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自が自己のゆかりの地域について「地理院地図」で地域的特色を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミ生の他者が紹介した地域について「地理院地図」で地域的特色を復習しておくこと。
第 3 回	地域へのまなざし（3）	ゼミ生ゆかりの地域について「地理院地図」でプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自が自己のゆかりの地域について「地理院地図」で地域的特色を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミ生の他者が紹介した地域について「地理院地図」で地域的特色を復習しておくこと。
第 4 回	地域へのまなざし（4）	ゼミ生ゆかりの地域について「地理院地図」でプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自が自己のゆかりの地域について「地理院地図」で地域的特色を把握しておくこと。 【事後学習】2 時間 ゼミ生の他者が紹介した地域について「地理院地図」で地域的特色を復習しておくこと。
第 5 回	日本地誌の高等教育的アプローチ（1）	初等・中等教育で学んだ日本地誌の事項について、経済地理学的な視点も入れた解釈・説明に向けての分析考察をグループワークで行う。 【事前学習】2 時間 春休み中の課題の成果をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 グループワークで設定した課題について追究しておくこと。
第 6 回	日本地誌の高等教育的アプローチ（2）	前回のゼミで設定した課題の追究結果をグループワークで共有し、説明にむけての準備を行う。 【事前学習】2 時間 各自担当の追究結果をプレゼンできるようにまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 グループで共有した事項について復習しておくこと。
第 7 回	日本地誌の高等教育的アプローチ（3）	日本の諸地域において担当する地域のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 役割分担に応じたプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 他のグループが発表した日本の諸地域の地誌的事項について復習しておくこと。
第 8 回	日本地誌の高等教育的アプローチ（4）	日本の諸地域において担当する地域のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 役割分担に応じたプレゼンテーションの準備をしておくこと。

		【事後学習】2 時間 他のグループが発表した日本の諸地域の地誌的事項について復習しておくこと。
第 9 回	日本地誌の高等教育的アプローチ (5)	日本の諸地域において担当する地域のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 役割分担に応じたプレゼンテーションの準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 他のグループが発表した日本の諸地域の地誌的事項について復習しておくこと。
第 10 回	MANDARA による主題図作成 (1)	地理情報分析支援システム「MANDARA」の基本操作について学習する。 【事前学習】2 時間 Web サイト地理情報分析支援システム「MANDARA」にアクセスして各自が操作してみること。 【事後学習】2 時間 授業で紹介した「MANDARA」の操作方法について復習しておくこと。
第 11 回	MANDARA による主題図作成 (2)	地図表現技法を学習するとともに、「MANDARA」を操作して各自が担当する空間データの適切な地図化（主題図作成）を試みる。 【事前学習】2 時間 「MANDARA」で空間データを処理して地図化を試みること。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ適切な地図表現技法について復習しておくこと。
第 12 回	MANDARA による主題図作成 (3)	各自が「MANDARA」で作成した主題図のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 前回の授業で学んだ適切な地図表現で主題図を作成しておくこと。 【事後学習】2 時間 他者作成の主題図の長所を確認し、自己作成の主題図を修正しておくこと。
第 13 回	ゼミナール地域研究への参画にあたって (1)	本年度実施の地域研究について、各グループで究明している様々な事項の基礎概念について知識不足の概念を整理する。 【事前学習】2 時間 各グループで究明している事項について知識不足の概念を列挙しておくこと。 【事後学習】 授業内で示された共有すべき基礎概念について復習しておくこと。
第 14 回	ゼミナール地域研究への参画にあたって (2)	本年度実施の地域研究について、各グループで究明している様々な事項の基礎概念について共有・整理した結果のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 各グループで究明している事項について知識不足の概念を列挙しておくこと。 【事後学習】 授業内で示された共有すべき基礎概念について復習しておくこと。
第 15 回	ゼミナール地域研究への参画にあたって (3)	本年度実施の地域研究について、各グループで究明している様々な事項の基礎概念について共有・整理した結果のプレゼンテーションを行う。 【事前学習】2 時間 各グループで究明している事項について知識不足の概念を列挙しておくこと。 【事後学習】 授業内で示された共有すべき基礎概念について復習し理解を深めておくこと。
第 16 回	地域研究課題の設定 (1)	地域研究の課題設定にあたっての地理学的スタンスを学ぶ。 【事前学習】2 時間 地域の産業・文化・景観・環境について、興味ある分野について自分なり見解をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に学んだ課題設定にあたっての地理学的スタンスについて復習しておくこと。

		こと。
第 17 回	地 域 研 究 課 題 の 設 定 (2)	事例地域における地理的事象を研究課題としての設定を試みる。 【事前学習】2 時間 事例地域の産業・文化・景観・環境について、研究課題を見出しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に設定した研究課題について多様な観点から見つめて復習しておくこと。
第 18 回	地 域 研 究 課 題 の 設 定 (3)	前回までの授業で検討した研究課題の設定に関して検討結果を発表し討議する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 19 回	地域研究に関連する地理学文献輪読（1）	地域研究に関連する地理学での文献調査から地理学分野の視点や方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 研究課題対象に関連する地理学での文献を入手し、読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業時の学んだ地理学分野の視点や方法を復習するとともに、知識不足事項については基礎概念等を再度調べて理解しておくこと。
第 20 回	地域研究に関連する地理学文献輪読（2）	前回授業で取り上げた文献をもとに地理学的専門的事項について学ぶ。 【事前学習】2 時間 前回授業で取り上げた文献での地理学的専門的事項について、不明な点を列挙しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時の学んだ地理学的専門事項について復習しておくこと。
第 21 回	地域研究に関連する地理学文献輪読（3）	前回までの授業で検討した地理学文献についての解題を発表し討議する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り、知識について修正すべき箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 22 回	地域統計データの入手と分析考察（1）	事例地域の研究課題に関する国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し、事象の経年的推移や地域的特色を考察する。 【事前学習】2 時間 地域分析に必要な公的統計データを入手し、各自がデータのグラフ化や地図化をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に検討したデータとその考察結果を共有し、データの解釈について復習しておくこと。
第 23 回	地域統計データの入手と分析考察（2）	前回授業で不足していた国や地方自治体による公的統計データを入手・整理・分析し、事象の経年的推移や地域的特色を考察する。 【事前学習】2 時間 地域分析に必要な公的統計データを入手し、各自がデータのグラフ化や地図化をしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に検討したデータとその考察結果を共有し、データの解釈について復習しておくこと。
第 24 回	地域統計データの入手と分析考察（3）	前回までの授業で検討した地域統計データの分析考察結果について発表し討議する。

		【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべきに箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 25 回	地域統計データの入手と分析考察（4）	前々回までの授業で検討した地域統計データの分析考察結果について発表し討議する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべきに箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 26 回	野外巡検（エクスカージョン）研究（1）	事例地域の野外巡検を設定のためのフィールドワークとしての野外観察に関する基礎を学ぶ。 【事前学習】2 時間 身近な地域での地理的事象を対象として景観観察の自己トレーニングをしておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に学んだフィールドワークとしての野外観察に関する基礎を復習しておくこと。
第 27 回	野外巡検（エクスカージョン）研究（2）	事例地域の野外巡検のためのコースと観察すべき地点の地理的事象を選定する。 【事前学習】2 時間 事例地域の野外巡検のためのコースと観察すべき地点の地理的事象を各自が想定しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時に想定した観察すべき地点の地理的事象について復習しておくこと。
第 28 回	野外巡検（エクスカージョン）研究（3）	事例地域において観察すべき地点の地理的事象を追究し，巡検コースを確定する。 【事前学習】2 時間 事例地域において観察すべき地点の地理的事象について予習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時の検討から共有した事項について復習しておくこと。
第 29 回	野外巡検（エクスカージョン）研究（4）	事例地域の野外巡検についてのコースと見所を発表する。 【事前学習】2 時間 発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 質疑内容や指摘事項を振り返り，修正すべきに箇所については速やかに対応し復習しておくこと。
第 30 回	次年度ゼミナール地域研究の対象候補検討	次年度ゼミナール地域研究の研究課題と研究対象地域についての候補を発表する。 【事前学習】2 時間 次年度ゼミナール地域研究の研究課題と研究対象地域の候補を各自が設定し，その発表（プレゼン）の準備を入念にしておくこと。 【事後学習】2 時間 他者が設定した研究課題や研究対象地域の発表を振り返り，注目すべき点は自ら調べておくこと。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは，講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	80%	20%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
必読文献等は授業中に指示する
オフィスアワー
火曜日 4 限時（14:40～16:10）。事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミはグループワークでの共同作業がメインであり，メンバー間のコミュニケーションが大切です。頑張りましょう！
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究（一）	クラス	
担当教員	大澤 秀雄	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	水 5	単位区分	選
講義室	7073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
統計学の基礎を理解して基本的な分析を行なうことができるようになる。そのためのツールとして、Excel を使いになしながら、「基礎統計」で学ぶ基本の統計処理さらに統計分析の理解を深めることができる。さらに、目的に応じたデータを収集して基本統計分析を実践できるようになる。それにより、教養研究で学ぶ多変量データに対する分析の基礎を身に付けることができる。 対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
「基礎統計」で学ぶ統計分析を実践するために次のことを目的とする。 (1) 一変量のデータに対して分析に必要な基本統計値を計算処理できるようにすること。 (2) データの特性を捉えて、母集団の分布に対する推測に結び付ける能力を高めること。 (3) 調査目的に対して、適切な仮説を設定しそれに適するデータを収集する力をつけること。 (4) 調査結果をまとめ、統計分析に基づいた結果を的確にまとめ上げる能力をつけること。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	「教養研究」、「研究論文」の流れおよびゼミ活動の意義を理解する。 【事前学習】2 時間 Googleclass から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 「教養研究(一)」の講義内容を理解しておくこと。
第 2 回	PC の基本操作	ゼミで必須となる PC, Excel の基本操作を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 3 回	基本データの処理(1)	データの数え上げ、データ表の作成を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 4 回	基本データの処理(2)	度数分布表の作成し、基本統計値の導出を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 5 回	基本データの処理(3)	社会データをダウンロードし、その処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 6 回	分布の捉え方(1)	基本統計値に基づき、データの分布状況を捉える手法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 7 回	分布の捉え方(2)	6 回目につき、基本統計値から分布を把握する処理法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 8 回	分布の捉え方(3)	中心極限定理を理解し、PC 実験により実際に成立することを把握するための処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。

		【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 9 回	分布の捉え方(4)	社会データをダウンロードし、そのデータの分布状況を把握するための処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 10 回	統計的推測(1)	統計的推測の原理を理解し、PC による処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 11 回	統計的推測(2)	正規分布による統計的推測のための処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 12 回	統計的推測(3)	t 分布による統計的推測のための処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 13 回	統計的推測(4)	社会データに対して、統計的推測を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 14 回	前期課題(1)	前期習得した手法を実践する。 【事前学習】2 時間 社会データから分析資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回指摘された内容について改善を図り、理解を深めておくこと。
第 15 回	前期課題(2)	各自取得したデータの処理を実践する。 【事前学習】2 時間 14 回目のデータについて、処理を進めておくこと。 【事後学習】4 時間 前期の内容を駆使して、分析データについてまとめること。
第 16 回	課題発表(1)	前期まとめた分析レポートを発表する。 【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。

		【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。
第 1 7 回	課題発表(2)	前期まとめた分析レポートを発表する。 【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。 【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。
第 1 8 回	課題発表(3)	前期まとめた分析レポートを発表する。 【事前学習】2 時間 発表にあたりパワーポイントによるスライドを準備すること。 【事後学習】2 時間 今回の発表内容に関して、各自の意見をまとめておくこと。
第 1 9 回	仮説検定法(1)	仮説検定法の原理を理解し、PC による処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 0 回	仮説検定法(2)	社会データに対して、仮説検定法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 1 回	仮説検定法(3)	前回に続き、社会データに対して、仮説検定法を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 2 回	相関・回帰分析(1)	相関分析の原理を理解し、PC による処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 3 回	相関・回帰分析(2)	回帰分析の原理を理解し、PC による処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 4 回	相関・回帰分析(3)	相関・回帰分析の流れを理解し、PC による処理を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、よく読んでおくこと。

		【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 5 回	相関・回帰分析(4)	社会データに対して、相関・回帰分析を実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容および指定された演習ファイルを進め理解を深めておくこと。
第 2 6 回	統計調査実践(1)	与えられた一変量データに対して、基本的な分析を意図し実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。
第 2 7 回	統計調査実践(2)	与えられた二変量データに対して、相関・回帰分析を意図し実践する。 【事前学習】2 時間 Ecolink から配布資料をダウンロードし、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。
第 2 8 回	課題処理(1)	各自で社会データを探り、それに対する分析テーマを意図し実践する。 【事前学習】2 時間 社会データをあたり、興味あるダウンロード後、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。
第 2 9 回	課題処理(2)	28 回目につき、社会データに対する分析テーマを意図し実践する。 【事前学習】2 時間 社会データをあたり、興味あるダウンロード後、処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。
第 3 0 回	課題処理(3)	28、29 回目の社会データに対する分析テーマのレポートをまとめる。 【事前学習】2 時間 28、29 回目の処理を進めておくこと。 【事後学習】2 時間 今回の講義内容に応じて分析を進め理解を深めておくこと。

授業形式

解説については PC を通して行う講義スタイルをとる。大部分が PC による実践であるので、各自ごとに実践する必要がある。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	30 %	30 %	40 %	0 %	100 %
評価の特記事項					
指定された課題を必ず提出すること。また、指摘された箇所を理解して修正することを評価していく。					

テキスト
基礎統計で用いたテキスト
参考文献
基礎統計で配布された資料も重要な参考文献である。
オフィスアワー
随時可能であるが、メールなどを通してアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
分からないことをそのままにせず、段階を経て確実に分析できる力を磨くように。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	06
担当教員	小笠原 祐子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	7093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の 1) ～5) ができることを目標とする。 1) 急いで結論を出すのではなく、広い視野に立っていろいろな角度から考えられる。 2) 社会問題の普遍性および多様性について学ぶ。 3) グループ討論において自分の意見を論理的に述べる。 4) グループメンバーとのコミュニケーションを通じて他者から学ぶ姿勢を身につける。 5) 社会の変化を理解し、仕事と家族の新しい関係について考える。 対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
AI による人の代替や日本的雇用慣行の見直し、人生 100 年時代の到来など、働き方や生き方が問い直されていること、そのような中で新しい仕事と家族の関係の構築が求められていることを理解し、このような社会の変革を説明する力、理論的および批判的に省察する力を習得させる。また、グループ活動を通して、コミュニケーション力、リーダーシップおよび協働力を涵養する。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容，講義の形式，評価方法，履修上の注意について説明する。 自己紹介をする。 【事前学習】2 時間 自己紹介で述べたいことを考えてくる。 【事後学習】2 時間 ゼミ運営の方針についてよく復習し，疑問点を書き出して，次回授業で質問をする。
第 2 回	ゼミとは何か？ どのようなゼミが成功ゼミか？	通常の講義授業とゼミはどう違うのか，目指すべきゼミとそのためになどどのような心がけが必要かを討論を通して考える。 【事前学習】2 時間 通常授業とゼミはどの点が異なるのか考えてくる。 【事後学習】2 時間 自分なりのゼミの目標を立てる。
第 3 回	文献およびテーマのセクション	報告担当文献を選定する。 【事前学習】2 時間 教員指定文献の内容をざっと調べて担当希望文献を選ぶ。 【事後学習】2 時間 担当文献の入手方法を決め，報告日までの準備スケジュールを組む。
第 4 回	レジュメ作成および報告準備	レジュメの作成および報告の方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 レジュメおよび報告の方法について考えてくる。 【事後学習】2 時間 学んだ内容を担当文献に応用する。
第 5 回	「保育園に通えない子どもたち」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	「大量廃棄社会」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	「里山資本主義」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	「若者と労働」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジュメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	「シルバー民主主義」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	「認知バイアス」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	「未婚化社会」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	「日本とジェンダー」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	「貧困問題」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	「仕事と家族」について輪読	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レジメおよび報告原稿を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分の報告時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前期の反省	前期の反省と後期への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 前期の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 後期に向けて自分なりの目標を立てる。
第 16 回	後期のゼミ運営について	前期の反省をふまえて，後期のゼミ運営について話し合う。 【事前学習】2 時間 前期の反省をふまえて，後期のゼミ運営について考えてくる。 【事後学習】2 時間 話し合いの内容をふまえて，後期の自分なりのゼミの目標を立てる。
第 17 回	グループワークの実践	AI による人の代替についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 AI とは何かを調べておく。 【事後学習】2 時間 AI について問題点を整理する。
第 18 回	報告と討論の実践	AI による人の代替についてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 議題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。

		【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 19 回	ディベートの実践	AI の導入を進めるべきか否かについてディベートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディベートの反省点を整理する。
第 20 回	グループワークの実践	日本的雇用慣行の見直しについてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 日本的雇用慣行の見直しとは何かを調べておく。 【事後学習】2 時間 日本的雇用慣行の見直しについて問題点を整理する。
第 21 回	報告と討論の実践	日本的雇用慣行の見直しについてグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 議題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 22 回	ディベートの実践	日本的雇用慣行の見直しを進めるべきか否かについてディベートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディベートの反省点を整理する。
第 23 回	グループワークの実践	人生 100 年時代についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 人生 100 年時代とは何かを調べておく。 【事後学習】2 時間 人生 100 年時代について問題点を整理する。
第 24 回	報告と討論の実践	人生 100 年次代についてグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 議題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等による理解を深める。
第 25 回	ディベートの実践	人生 100 年時代へ新たな対応が必要か否かについてディベートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディベートの反省点を整理する。
第 26 回	ディベートの実践	ゼミ生が選んだテーマについてディベートを行う。 【事前学習】2 時間 担当の立場の論拠を整理する。 【事後学習】2 時間 ディベートの反省点を整理する。
第 27 回	3 年生のグループワーク報告会（その 1）	3 年生によるグループワークの報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 先輩に質問したい内容を書き出してくる。 【事後学習】2 時間 先輩のグループワークについて学んだことを整理しておく。
第 28 回	3 年生のグループワーク報告会（その 2）	3 年生によるグループワークの報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 先輩に質問したい内容を書き出してくる。 【事後学習】2 時間 先輩のグループワークについて学んだことを整理しておく。

第 29 回	4 年生の就職活動報告会	4 年生による就職活動報告会に参加する。 【事前学習】2 時間 就職活動について先輩に質問したい内容を書き出してくる。 【事後学習】2 時間 就職活動について学んだことを整理しておく。
第 30 回	1 年間を振り返る	1 年間の反省と来期への改善点や抱負について討論する。 【事前学習】2 時間 1 年間の反省点や改善点について考えてくる。 【事後学習】2 時間 来期に向けて自分なりの目標を立てる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	50%	20%	100%
評価の特記事項					
特になし。					

テキスト
使用しない。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミ内での討論参加が重要なので、欠席する場合は事前に必ず連絡をすること。 積極的に議論に参加することを心がけ、発言が苦手な人も1日1回は発言するなど自分なりの目標を立てて、コミュニケーション力の向上に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	07
担当教員	岡本 奈穂子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3113	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. ドイツの近現代史における事象を理解し、説明することができる。 2. 豊かな教養・知識に基づく多様な価値観と幅広い視野を持つことができる。 3. 理論的・批判的思考力を養うことができる。 4. 読解力、説明力、コミュニケーション能力、文章力を身につけることができる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
文献の輪読、プレゼンテーション、ディスカッションを中心に授業を進め、ドイツの近現代史から現在・未来への教訓を議論・考察することを目標とする。 また、文献講読による読解力、プレゼンテーションによる説明力、ディスカッションによるコミュニケーション能力、レポート作成による文章力の向上を図る。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業計画，成績評価，授業に関する諸注意等について説明する。
第 2 回	現代ドイツの諸相	ドイツ関連の新聞記事の発表を行う。 【事前学習】2 時間 ドイツ関連の新聞記事を収集・読解・分析しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 3 回	24 ドイツ産業革命	テキスト第 24 章「ドイツ産業革命」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 4 回	27 ヴィルヘルム期のドイツ帝国	テキスト第 27 章「ヴィルヘルム期のドイツ帝国」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 5 回	28 第一次世界大戦	テキスト第 28 章「第一次世界大戦」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 6 回	29 ヴァイマル共和国	テキスト第 29 章「ヴァイマル共和国」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 7 回	30 ヒトラー独裁の成立	テキスト第 30 章「ヒトラー独裁の成立」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 8 回	31 ナチ時代のドイツ	テキスト第 31 章「ナチ時代のドイツ」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 9 回	32 ホロコースト	テキスト第 32 章「ホロコースト」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 10 回	33 分割占領下のドイツ	テキスト第 33 章「分割占領下のドイツ」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 11 回	34 基本法の制定と西ドイツの成立	テキスト第 34 章「基本法の制定と西ドイツの成立」の発表・ディスカッションを行う。

		【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 12 回	35 東ドイツの苦悩	テキスト第 35 章「東ドイツの苦悩」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 13 回	36 再軍備と経済統合	テキスト第 36 章「再軍備と経済統合」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 14 回	37 ベルリンの壁	テキスト第 37 章「ベルリンの壁」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 15 回	レポートの書き方	レポートの書き方（内容、構成、文章、参考文献）について説明する。 【事前学習】2 時間 レポート作成のため、これまでの学習内容を見直し、重要事項をまとめておくこと。 【事後学習】2 時間 レポート作成の準備を進める。
第 16 回	後期授業ガイダンス ドイツのエコロジー生活，食文化など	後期授業の内容について説明する。 ドイツのエコロジー生活，食文化などについて理解を深め，ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 前期の学習内容を見直し，復習しておくこと。 【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。
第 17 回	40 プラントと東方政策	テキスト第 40 章「プラントと東方政策」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 18 回	42 緑の党と社会変容	テキスト第 42 章「緑の党と社会変容」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 19 回	41 ホーネッカーの東ドイツ	テキスト第 41 章「ホーネッカーの東ドイツ」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し，プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 20 回	ベルリンの壁崩壊	ベルリンの壁崩壊に至る経緯について理解を深め，ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 資料を熟読し，内容を理解する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。

第 21 回	44 ドイツ統一	テキスト第 44 章「ドイツ統一」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 22 回	46 コール政権と改革の停滞	テキスト第 46 章「コール政権と改革の停滞」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 23 回	47 シュレーダー政権と刷新	テキスト第 47 章「シュレーダー政権と刷新」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 24 回	48 ハルツ改革	テキスト第 48 章「ハルツ改革」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 25 回	旧東独地域とオスタルギー	テキストのコラム 11「オスタルギーとは何か」と関連資料の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 テキストや資料を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 26 回	49 ユーロ危機	テキスト第 49 章「ユーロ危機」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 27 回	50 メルケル政権	テキスト第 50 章「メルケル政権」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 28 回	2 すぐそこにある森 / 3 産業とエネルギー	テキスト第 2 章「すぐそこにある森」/ 教科書第 3 章「産業とエネルギー」の発表・ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 該当章を熟読し、プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 29 回	統一後のドイツ	統一後のドイツの状況について理解を深め、ディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 資料を熟読し、内容を理解する。 【事後学習】2 時間 授業時の議論を復習しておくこと。
第 30 回	後期のまとめ	ベルリンの壁建設後から現在までのドイツについてまとめる。 【事前学習】2 時間 これまでの学習内容を見直し、重要事項をまとめたレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 授業の内容を復習しておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					
出席状況、発表（資料・口頭説明）、ディスカッション（発言・質問）、レポート（文章、論理性、説得力）を総合的に勘案して評価します。					
発表やディスカッションでは積極性を重視します。					

テキスト
森井裕一（編著）『ドイツの歴史を知るための 50 章』明石書店、¥ 2,000 + 税
参考文献
特になし
オフィスアワー
月曜日 18:00-（要事前連絡）
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
・文献講読では、わからない言葉や内容はできるだけ事前に調べておきましょう。 ・発表（プレゼンテーション）では本の文章をそのまま読むのではなく、内容を理解した上で自分の言葉で説明できるように準備しておいてください。 ・物事は多面的で、世の中にはいろいろな考え方や価値観があります。みなさんの積極的な発言・質問で活発なディスカッションになることを期待しています。 ・ゼミは一般の講義とは異なり、自主性が重視されます。何事にも積極的に取り組むことで経験値が高まり、その後の可能性も広がります。ゼミは発表やディスカッションの「練習の場」だと思って、失敗を恐れず、チャレンジしてみてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	09
担当教員	笠貫 葉子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 日々何気なく使っている「ことば」に意識を向け、その背景にある「動機づけ」について自分なりに考えることができる。 2. 認知言語学における基本概念をおさえた上で、実例を集めて分析できる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
基本的な文献を通して、認知言語学の考え方を解説します。ゼミ生には、その内容を理解した上でディスカッションや発表を行うことを通じ、他者の意見を聴く力や自分の意見を的確に述べる力を養ってもらいます。さらに、年度末には各自で決めたテーマについてのレポート作成を課し、書く力の向上につなげます。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方の説明，ゼミ生どうしの自己紹介 【事前学習】2 時間 テキストの i~iv ページを読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業後に課されるアンケートフォームに回答して提出する。
第 2 回	日常的語彙にあふれる比喻について	比喻として意識していない日常的な語彙の中にも実際には多くの比喻がある ということを，実例を通して学ぶ。 【事前学習】2 時間 新聞やニュースなどで見聞きする時事的な用語について、気になるものを書き 出しておく。 【事後学習】2 時間 授業で話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 3 回	テキスト（1）第 1 章「空 はなぜ青いのか？」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察 する。
第 4 回	テキスト（1）第 2 章「もの の見方」と意味	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察 する。
第 5 回	テキスト（1）第 3 章「プロ トタイプ」（前半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察 する。
第 6 回	テキスト（1）第 3 章「プロ トタイプ」（後半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察 する。
第 7 回	テキスト（1）第 4 章「抽 象化とスキーマ」（前半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察 する。
第 8 回	テキスト（1）第 4 章「抽 象化とスキーマ」（後半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通し て理解を深める。

		【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 9 回	テキスト（1）第 5 章「イメージ・スキーマ」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 10 回	テキスト（1）第 6 章「意味のネットワーク」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 11 回	テキスト（1）第 7 章「メタファー」（前半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 12 回	テキスト（1）第 7 章「メタファー」（後半）	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 13 回	時事的用語にあふれるメタファーとその効果	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き，ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，同様の語彙使用について考察する。
第 14 回	前期内容の総まとめ	重要なポイントを総括し，理解度を確認する。各自で疑問点があれば，皆でその疑問を解決する。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に見直し，疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り，確実な知識を定着させる。
第 15 回	試験課題	前期に学んだ認知言語学の基礎概念について，理解度を確認する。課題を提示し，解答を後日提出する形式にて行う。 【事前学習】2 時間 前期のテキストにおける既習部分を復習し，自分なりに説明できるようにしておく。 【事後学習】2 時間

		解答の際に正答を記せなかった問について、テキストの該当箇所を読み直す。
第 16 回	後期授業開始にあたってのオリエンテーション	・後期授業の進め方についての説明 ・ゼミ生による「振り返り」についての発表 【事前学習】2 時間 これまでの学習のあり方を振り返り、今後に生かすための方法を考えておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 17 回	テキスト（１）第 8 章「メトニミー」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 18 回	テキスト（１）第 9 章「概念メタファー」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 19 回	テキスト（１）第 10 章「方向性のメタファー」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 20 回	テキスト（１）第 11 章「色」とことば」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 21 回	テキスト（１）第 12 章「構文と意味」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 22 回	テキスト（１）第 13 章「ことばのダイナミズム」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 23 回	テキスト（１）第 14 章「こ	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通し

	とば、文化、普遍性」	て理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 24 回	テキスト（2）第 1 章「言葉は喩えで満ちている」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 25 回	テキスト（2）第 2 章「ぬるきミルクのような幸せ」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 26 回	テキスト（2）第 3 章「船頭多くして船山に登る」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 27 回	テキスト（2）第 4 章「シミリ・メタファー・シネグドキー」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 28 回	テキスト（2）第 5 章「メトニミーとは何か」	担当ゼミ生の発表と教員の解説を聴き、ゼミ生どうしのディスカッションを通して理解を深める。 【事前学習】2 時間 テキストを事前に通読し、疑問点を明確にしておく。 【事後学習】2 時間 授業での解説や話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 29 回	気になる語彙使用について	ゼミ生各自が یافته きた「気になる語彙」についての発表とディスカッション。 【事前学習】2 時間 気になる語彙を見つけ、自分なりに「動機づけ」を考察しておく。 【事後学習】2 時間 授業で話し合った内容を振り返り、同様の語彙使用について考察する。
第 30 回	総まとめ	後期に学んだ認知言語学の基礎概念について、理解度を確認する。期末レポートに向けて、疑問点があれば解消する。 【事前学習】2 時間 後期のテキストにおける既習部分を復習し、自分なりに説明できるようにしておく。 【事後学習】2 時間

		授業内容を振り返り, レポートについて考察を深める。
--	--	----------------------------

授業形式
・質問等のフィードバックは, 講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	30%	10%	100%
評価の特記事項					
課題は期日までに必ず提出すること。					

テキスト
(1) 谷口一美著『学びのエクササイズ 認知言語学』, ひつじ書房, 2006 年, 1200 円 (税抜) . (2) 森雄一著『学びのエクササイズ レトリック』, ひつじ書房, 2012 年, 1400 円 (税別) .
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
基本的には授業前後の時間帯とする。事前に必ずアポイントメントをとること。
学生へのメッセージ (事前・事後学習の内容など)
やむを得ず遅刻・欠席をする場合には、必ず教員に連絡すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	10
担当教員	加藤 嘉津枝	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	7061	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 第二言語習得について基礎的なことを理解し、説明できる。 2. 効果的な英語学習法を理解し、説明できる。 3. 第二言語習得や英語学習法について活発に議論し意見交換することができる。 対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、英語学習法を学修する準備として、第二言語習得研究の基礎的な項目（習得順序研究, Krashen のモニターモデル, 年齢要因など）を演習形式で学習して、第二言語習得の基礎を身につけてもらいます。その知識をもとに様々な英語学習法（例えば、多読、音読《overlapping, shadowing, repeating など》、語彙学習法など）について研究・発表・討論してもらいます。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明します。 【事前学習】2 時間 これまでの自身の英語学習について振り返り, 良かった点, 問題点などをまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 2 回	Speech, Group Discussion	英語での自己紹介 Speech をペア, グループで行います。 Group Discussion では, これまでの英語学習をグループで振り返り, 良かった点, 問題点, 今後の学習について話し合います。 【事前学習】2 時間 英語での自己紹介 Speech を準備する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 3 回	第二言語習得とは?	第一言語習得と第二言語習得の違いなどについて考えます。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 4 回	英語学習サイトと英語学習アプリ	様々な英語学習サイトと英語学習アプリを体験し, 良い点, 問題点などを考えます。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 5 回	対照分析仮説とその後	対照分析仮説を紹介し, それに対する批判, その後の学習理論について学びます。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 6 回	習得順序研究	形態素の習得順序研究について学びます。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 7 回	Krashen のモニターモデル	Krashen のモニターモデル (習得学習分離仮説, モニター仮説, 順序性仮説, インプット仮説, 情意フィルター仮説) について学習します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 8 回	年齢要因と第一言語習得	臨界期仮説について学び, 年齢要因がどのように第一言語習得に影響を及ぼすのか, これまでの研究を紹介します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 9 回	年齢要因と第二言語習得	これまでの研究から年齢要因がどのように第二言語習得に影響を及ぼすのか

		を確認し、臨界期仮説の妥当性について考察します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 10 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 11 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 12 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 13 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 14 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 15 回	前期まとめ	前期授業で学習したことを確認し、グループで前期の英語学習と今後の英語学習計画について考えます。
第 16 回	後期ガイダンス、テキスト批評について、英語学習の振り返りと後期の学習計画	講義の内容、講義の形式、履修上の注意点について説明します。 テキスト批評の仕方について解説します。 夏休みの英語学習を振り返り、後期の学習についてグループで話します。 【事前学習】2 時間 夏休みの英語学習について、良かった点、問題点などを振り返り、後期の学習について計画を立てる。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 17 回	Ted talks	Ted talks の speech を基に様々な学習法を体験し、学習法について振り返ります。

		【事前学習】2 時間 自分の好みに合う Ted talks を視聴して, shadowing や overlapping, dictation などを行う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 18 回	英語活動, グループ発表準備	英語活動を行い, 活動について振り返ります。 グループに分かれて, 発表の準備を行います。 【事前学習】2 時間 グループ発表について, メンバーとテーマや, 発表準備について話し合う。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。発表準備をさらに進める。
第 19 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 20 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 21 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 22 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 23 回	テキスト批評発表	ゼミ生がテキスト批評発表をします。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, 発表について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 24 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は, 紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で, その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして, 予習する。 【事後学習】2 時間

		授業内容を復習する。
第 25 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 26 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 27 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 28 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 29 回	グループ発表	英語学習法についてゼミ生が発表します。発表を聞いたゼミ生は、紹介された英語学習法を発表者の指示により実際に体験します。その上で、その英語学習法について討論します。 【事前学習】2 時間 Google クラスルームから資料をダウンロードして、予習する。 【事後学習】2 時間 授業内容を復習する。
第 30 回	まとめ	授業で学習したことを振り返り、これまでの英語学習と今後の英語学習計画についてグループで考えます。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	20%	20%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度では、レポート以外の課題への取り組み（質、量ともに）を評価します。その他では、Speech,プレゼンテーション等への取り組みを評価します。					

テキスト
特になし。
参考文献
授業中に随時紹介します。
オフィスアワー
月曜日 11:00～12:00。事前にメールでアポイントをとってください。メールによる相談も受け付けます。初回到授業用メールアドレスをお伝えします。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
全体での演習やグループワーク、ペアワークでは、ゼミ生の意見をよく聴き、自分からも積極的に発言するように心がけてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	11
担当教員	金田 耕一	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3114	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
・「教養研究(一)」(2 年)では身近な問題から公共政策について考える糸口となる発表を中心にすすめる。 ・「教養研究(二)」(3 年)では「研究論文」を見据えて、各人が主に取り組むテーマを見出せるような発表をおこなう。 ・「研究論文」(4 年)では、これまでの成果を論文としてまとめるために、資料の収集、論文構想、具体的な執筆、経過報告、最終報告をおこなう。 対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
現代社会が直面するさまざまな公共的課題を発見して、読み解き、それが引き起こしている影響、原因、そして解決の見通しなどについて考える力をつける。近年では公共的課題の「効率的」解決として公共システムの民営化や縮小がおこなわれてきた。しかし、その結果として、公的領域が私的領域へと変えられて、ますます公共的課題に取り組む「学知」も痩せ細ってきている。公共政策の課題をつうじて、あらためて「公共性」について考えたい。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 前期の輪読のスケジュールと担当者の割り当てを行う。 【事前学習】2 時間 EcoLink から資料をダウンロードし, よく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておくこと
第 2 回	指定した文献の輪読①	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	グループワークの実践①	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 4 回	指定した文献の輪読②	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	グループワークの実践②	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 6 回	指定した文献の輪読③	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	グループワークの実践③	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 8 回	指定した文献の輪読④	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み, レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから, 自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	グループワークの実践④	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間

		前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 10 回	指定した文献の輪読⑤	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	グループワークの実践⑤	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 12 回	指定した文献の輪読⑥	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	グループワークの実践⑥	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 14 回	指定した文献の輪読⑦	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	グループワークの実践⑦	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 16 回	指定した文献の輪読⑧	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	グループワークの実践⑧	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 18 回	指定した文献の輪読⑨	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポ

		ート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	グループワークの実践⑨	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 20 回	指定した文献の輪読⑩	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	グループワークの実践⑩	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 22 回	指定した文献の輪読⑪	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	グループワークの実践⑪	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 24 回	指定した文献の輪読⑫	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	グループワークの実践⑫	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 26 回	指定した文献の輪読⑬	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	グループワークの実践⑬	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 28 回	指定した文献の輪読⑭	指定した文献の内容を順番に報告する。 【事前学習】2 時間

		自分が報告する箇所を読み，レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから，自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	グループワークの実践⑭	前回実施内容についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 前回の内容を振り返っておく。 【事後学習】2 時間 グループワークで出た問題点を整理する。
第 30 回	全体のまとめ	全体のまとめ・1 年間の振り返り 【事前学習】4 時間 これまでの内容を振り返っておく。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	100%	0%	100%
評価の特記事項					
質問等のフィードバックは、講義内で行う。					

テキスト
授業時に指示する
参考文献
オフィスアワー
授業時に指示する
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	12
担当教員	久井田 直之	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 英語と日本語の違いを理解し、説明できる。 2. 身近にあるさまざまな問題について、グローバルな視点で捉え、自身の考えを平易な英語で発信できる。 3. 問題の背景を調査し、深く考察することで、問題の本質を説明できる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、社会人として求められるスキルと英語学習や英語の資格試験に必要とされるスキルの二つの習得を目標とします。またゼミ内での英語アクティビティに関する企画発案・運営・振り返り・企画の見直しを通して、問題発見能力や問題解決能力の育成も図ります。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの内容と形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。自己紹介と他己紹介を体験しよう。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 1 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，自己紹介と他己紹介の違いを自身の体験をもとに説明できるようにしておくこと。
第 2 回	目標設定	短期・中期・長期目標の設定と英語について考える。自身の英語学習を振り返り、今後のための目標設定を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 2 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，自身の目標とその達成のためのプロセスを見直し，修正を行い，次回のゼミナール時に提出できるように準備しておくこと。
第 3 回	社会人スキルとは	グループディスカッションのやりかたについて学び，社会人スキルとは何か，どんなスキルを在学中に身に付けるとよいかについてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 3 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，ディスカッションの振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。次回発表者はビブリオバトルの準備をしておくこと。
第 4 回	ビブリオバトル	ビブリオバトルを 2 つのグループに分かれて，2 週間でそれぞれのグループがプレゼンテーションを行い，週ごとに相互評価を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 4 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。次回発表者はビブリオバトルの準備をしておくこと。
第 5 回	ビブリオバトル 2	ビブリオバトル（第 2 グループ）を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 5 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 6 回	図書館を用いた探究学習	グループワークによる図書館を用いた探究学習を行い，2 週間後に設定したプレゼンテーションに向けて準備を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い，クラスルーム内の指示に従い，第 6 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い，振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。

第 7 回	図書館を用いた探究学習 2	グループワークによる図書館を用いた探究学習を行い、1 週間後に設定したプレゼンテーションに向けて準備を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 7 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のゼミナールの振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。次回のプレゼンテーションの準備や練習を行うこと。
第 8 回	プレゼンテーション	探究学習のプレゼンテーションを行い、発表を聞きながら、プレゼンテーションの評価を付ける。客観的に他者のプレゼンテーションを見て、よいところと改善すべきところを見つける。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 8 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のプレゼンテーションの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 9 回	英語能力試験	英語能力試験の種類と特性を理解し、自身の英語学習に活かす方法を考える。調べた情報を整理し、発表する形式でグループワークを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 9 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のグループワーク活動シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 10 回	英語アクティビティ	グループごとに発表を行う。発表後に質疑応答やプレゼンテーションへのコメントのフィードバックを行う。次回からの学生企画の英語アクティビティについての説明とグループごとの打ち合わせを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 10 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のプレゼンテーションの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 11 回	英語アクティビティ 2	前半に学生企画の英語アクティビティを実施する。担当グループの主催で行い、ゼミ生が参加し、よかった点や改善点を討議し、企画の修正を検討する。後半は TOEIC を用いた英語学習をゼミ内で実践する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 11 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の英語アクティビティの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 12 回	英語アクティビティ 3	前半に学生企画の英語アクティビティを実施する。担当グループの主催で行い、ゼミ生が参加し、よかった点や改善点を討議し、企画の修正を検討する。後半は全国学生英語プレゼンテーションコンテストのテーマを確認し、ペアでテーマに沿った調査を行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 12 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の英語アクティビティの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。

		に準備しておくこと。
第 13 回	全国学生英語プレゼンテーションコンテスト	前半に学生企画の英語アクティビティを実施する。担当グループの主催で行い、ゼミ生が参加し、よかった点や改善点を討議し、企画の修正を検討する。後半は全国学生英語プレゼンテーションコンテストのペアワークアクティビティを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 13 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の英語アクティビティの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 14 回	全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 2	前半に学生企画の英語アクティビティを実施する。担当グループの主催で行い、ゼミ生が参加し、よかった点や改善点を討議し、企画の修正を検討する。後半は全国学生英語プレゼンテーションコンテストのペアワークアクティビティを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 14 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の英語アクティビティの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。次回の前期最終ゼミでプレゼンテーションでき
第 15 回	全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 3	全国学生英語プレゼンテーションコンテストのペアワークアクティビティの発表を行う。独自性に焦点を置き、アイデアを際立たせるために必要なことを学ぶ。問題発見能力と問題解決能力の発想についても考察する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 15 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日のアクティビティの評価シートを完成させて、シートを提出できるように準備しておくこと。
第 16 回	SNS と英語学習	SNS を用いた情報発信の方法や有効性について学ぶ。英語学習にもつながる英語で書かれた SNS の利用方法も考察する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 16 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 17 回	日本語と英語の違い	前回のゼミで学んだことを活かして、英語と日本語でゼミナールの SNS を用いて、1 年生向けの情報発信について討議する。後半は、「英語」と「日本語」の違いを文献やクイズを通して学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 17 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 18 回	日本語と英語の違い 2	「英語」と「日本語」の発想の違いについて、文献やクイズを通して学ぶ。後半は、これからゼミに入ることを考えている学生向けにどのような広報活動を行うことが有効か、SNS での告知方法等を調査し、ゼミナールの SNS の利用の仕方と自身の今後の SNS との関わり方を考える。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 18 回の準備を行うこと。

		【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 19 回	英字新聞 1・アンケート	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。そしてアンケート調査について、作成方法や分析方法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 19 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 20 回	英字新聞 2・学習効果	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。英語アクティビティによる学習効果についての文献を読み、グループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 20 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 21 回	英字新聞 3・学習効果	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。英語アクティビティによる学習効果についての文献を読み、グループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 21 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 22 回	英字新聞 4・モチベーション	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。英語学習とモチベーションに関する文献を読み、グループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 22 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 23 回	英字新聞 5・モチベーション	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。英語学習とモチベーションに関する文献を読み、グループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 23 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 24 回	英字新聞 6・経済学	英字新聞を用いた当日の担当者による関心を持ったニュースに関するプレゼンテーションを行う。英語で書かれた経済学の文献を読み、どのような英語のサポートが内容理解に必要ななどのグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 24 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 25 回	アンケート結果分析・経済学	学生が作成したゼミナールの入室試験で行ったアンケートの結果を分析する。英語で書かれた経済学の文献を読み、どのような英語のサポートが内容理

		解に必要ななどのグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 25 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 26 回	面接	面接での質疑応答について調査し、わかったことをまとめて口頭発表する。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 26 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 27 回	経済学	英語で書かれた経済学の文献を読み、どのような英語のサポートが内容理解に必要ななどのグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 27 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 28 回	英語と将来	英語力と所得の関係性に関する文献を読み、今後の英語との関わり方についてグループディスカッションを行う。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 28 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 29 回	有効な英語学習方法	授業以外で行うことができる英語学習方法や有効なインターネットの使用法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 29 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。
第 30 回	英語での意見発信	英語での意見発信に役立つ英語学習方法や有効なインターネットの使用法を学ぶ。 【事前学習】2 時間 google クラスルームと gmail の確認を行い、クラスルーム内の指示に従い、第 30 回の準備を行うこと。 【事後学習】2 時間 当日の振り返りを行い、振り返りシートを提出できるように準備しておくこと。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
欠席数が 5 回以上になった学生は評価の対象外とする。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
The CORE Team, The Economy: Economics for a Changing World, Oxford Univ Press, 2017.
オフィスアワー
月曜日 15 : 00 ~ 17 : 00。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
英語が好きで、英語を使いこなせるようになりたいという向上心を持って、自身の英語力のレベルアップのために努力を惜しまない姿勢で取り組んでもらえたらと思います。また物事に積極的に取り組む姿勢と自主性を持ち、他のゼミ生と協調していくことができることが重要です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	14
担当教員	坂野 徹	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミでは、現代日本社会における様々な文化的事象を、フィールドワーク（現地調査）と書物を通じて考えていく。東京という都市、学生の暮らす家や街、アルバイト先、さらにはネット空間もまたひとつのフィールド（現場）にほかならない。本ゼミでは、こうした 様々なフィールド（現場）で発生する文化的事象を対象に、幅広い読書と自らの観察・聞き書き（目、耳）も駆使しながら考えていく。 対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
ゼミで取り上げる可能性のある問題は、政治などの社会に関わる問題から、大学生活や恋愛、ファッション、趣味、風俗といった日常的な問題まで、非常に多岐にわたる。学生諸君には、「全てはフィールドである」という精神のもと、自分を取り巻く日常世界を批判的に捉え返す姿勢を養ってもらいたい。ゼミの目的を一言で表すならば、「人生の強化」である。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミの内容、形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 課題テキストをよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習しておくこと。
第 2 回	フィールドワークの方法論（1）	フィールドワークの方法論に関する輪読（1） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	フィールドワークの方法論（2）	フィールドワークの方法論に関する輪読（2） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	フィールドワークの方法論（3）	フィールドワークの方法論に関する輪読（3） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	読書への誘い（1）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 6 回	フィールドワークの方法論（4）	フィールドワークの方法論に関する輪読（4） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	フィールドワークの方法論（5）	フィールドワークの方法論に関する輪読（5） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	フィールドワークの方法論（6）	フィールドワークの方法論に関する輪読（6） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	読書への誘い（2）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 10 回	フィールドワークの方法論（7）	フィールドワークの方法論に関する輪読（7） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	フィールドワークの方法論（8）	フィールドワークの方法論に関する輪読（8） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	フィールドワークの方法論（9）	フィールドワークの方法論に関する輪読（9） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	フィールドワークの方法論（10）	フィールドワークの方法論に関する輪読（10） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	読書への誘い（3）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 15 回	前期まとめ	大学外によるフィールドワーク 【事前学習】2 時間 フィールドワーク対象の調査。 【事後学習】2 時間 資料などにより理解を深める。
第 16 回	イントロダクション（後期）	ゼミ（後期）の内容、形式、評価方法、履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 課題テキストをよく読んでおくこと。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習しておくこと
第 17 回	フィールドワークの理論と実践（1）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（1） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	フィールドワークの理論と実践（2）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（2） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	フィールドワークの理論と実践（３）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（３） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	読書への誘い（４）	各自が新書を１冊選び、紹介する。 【事前学習】２時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】２時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 21 回	フィールドワークの理論と実践（４）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（４） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	フィールドワークの理論と実践（５）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（５） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	フィールドワークの理論と実践（６）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（６） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	読書への誘い（５）	各自が新書を１冊選び、紹介する。 【事前学習】２時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】２時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 25 回	フィールドワークの理論と実践（７）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（７） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	フィールドワークの理論と実践（８）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（８） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジюме作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	フィールドワークの理論と実践（９）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（９） 【事前学習】２時間 自分が報告する箇所を読み、レジюмеを作成する。 【事後学習】２時間

		自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	フィールドワークの理論と実践（10）	フィールドワークの理論と実践に関する輪読（10） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レジメを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレジメ作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	読書への誘い（6）	各自が新書を 1 冊選び、紹介する。 【事前学習】2 時間 図書館などで本を選び、紹介レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 他の学生が紹介した本について調べてみる。
第 30 回	後期まとめ	大学外によるフィールドワーク 【事前学習】2 時間 フィールドワーク対象の調査。 【事後学習】2 時間 資料などにより理解を深める。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	30%	40%	100%
評価の特記事項					
ゼミ内でのレジュメ作成、発表、討論への参加、フィールドワーク実践の成果を総合的に評価する。					

テキスト
工藤保則他編『質的調査の方法〔第2版〕』（法律文化社、2016年）、2600円（税抜）
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
月1回程度2，3年生と合同ゼミとする。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	15
担当教員	佐藤 温	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3105	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
1. 近世の語彙や文法に関する知識を身につけ、古典文を読解することができる。 2. 作品の読解を通して近世の文化について考え、その特徴を時代背景とともに説明することができる。 3. 近世の歴史や社会のあり方について、文化との関わりから理解し、説明することができる。 対応 D P, C P : 1, 2, 6, 7, 8,
授業概要（教育目的）
日本の近世（江戸時代）の文学作品を読みながら、その表現や思想の特徴、ならびに当時の文化や社会のあり方について解説していきます。近世の人々が、それ以前の文学の伝統を受け継ぎつつ、新しい文学をどのように作り出していったかという観点を中心に、当時の文学作品の意義について考察します。自らの力で歴史的な作品や文献を読み解くことにより、その意味を理解する力とともに、現代の社会や文化を新たな角度から考える力も涵養してもらいたいと思います。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	前期ガイダンス	前期の学習内容と実施方法の確認 【事前学習】2 時間 春期休暇中の課題図書『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』を読み直し，内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 第 3 回以降の文献の輪読について，担当箇所を確認し発表準備を計画する。
第 2 回	近世文学の概要	近世文学の歴史的な展開や特徴について学ぶ。 【事前学習】2 時間 『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』を読んだ上で疑問に思った点や興味を持った点について整理する。 【事後学習】2 時間 授業中に取り上げられた問題点についてまとめ，理解を深める。
第 3 回	文献の輪読（1）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 1 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 4 回	文献の輪読（2）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 2 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 5 回	文献の輪読（3）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 3 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 6 回	文献の輪読（4）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 4 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 7 回	文献の輪読（5）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 5 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 8 回	文献の輪読（6）	近世期の主要な文学作品について，『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ，発表する。（第 6 回） 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに，発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。

第 9 回	文献の輪読 (7)	近世期の主要な文学作品について、『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ、発表する。(第 7 回) 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 10 回	文献の輪読 (8)	近世期の主要な文学作品について、『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ、発表する。(第 8 回) 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 11 回	文献の輪読 (9)	近世期の主要な文学作品について、『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ、発表する。(第 9 回) 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 12 回	文献の輪読 (10)	近世期の主要な文学作品について、『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』に基づいて学ぶ。各自で担当箇所についてまとめ、発表する。(第 10 回) 【事前学習】2 時間 各自の発表内容について調査・考察を行うとともに、発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 13 回	文献の輪読 (11)	3～12 回の輪読を通して理解した近世文学の特徴について討論する。 【事前学習】2 時間 3～12 回の発表資料を読み直す。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 14 回	レポートの書き方	3～13 回の内容をもとにレポートを執筆する方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 各自の発表内容を見直し、レポート執筆に向けて修正・増補すべき点について考える。 【事後学習】2 時間 レポートを執筆する際の考え方や決まり事について復習する。
第 15 回	まとめ	前期の学習内容を振り返り、来学期の学習の目標を確認する。 【事前学習】2 時間 前期の資料を全体的に読み直し、内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 夏期休暇中の課題レポートに取り組むために必要な準備を行う。
第 16 回	後期ガイダンス	後期の学習内容と実施方法を確認する。 【事前学習】2 時間 夏期休暇中の課題図書を読み直し、内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 次回以降の文献の輪読について、担当箇所を確認し発表準備を計画する。
第 17 回	作品の輪読 (1)	作品 1 (仮) を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 18 回	作品の輪読 (2)	作品 1 (仮) を読み、内容について討論する(続き)。

		【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 19 回	作品の輪読（3）	作品 2（仮）を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 20 回	作品の輪読（4）	作品 2（仮）を読み、内容について討論する（続き）。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 21 回	作品の輪読（5）	作品 3（仮）を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 22 回	作品の輪読（6）	作品 3（仮）を読み、内容について討論する（続き）。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 23 回	作品の輪読（7）	作品 4（仮）を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 24 回	作品の輪読（8）	作品 4（仮）を読み、内容について討論する（続き）。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 25 回	作品の輪読（9）	作品 5（仮）を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 26 回	作品の輪読（10）	作品 5（仮）を読み、内容について討論する（続き）。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 27 回	作品の輪読（11）	作品 6（仮）を読み、内容について討論する。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。 【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について、調査・考察をする。
第 28 回	作品の輪読（12）	作品 6（仮）を読み、内容について討論する（続き）。 【事前学習】2 時間 作品を読み、内容についてわからない点などは自分で調べておく。

		【事後学習】2 時間 討論において取り上げられた問題点について，調査・考察をする。
第 29 回	レポートの書き方	17～28 回の発表内容をもとにレポートを執筆する方法について学ぶ。 【事前学習】2 時間 各自の発表内容を見直し，レポート執筆に向けて修正・増補すべき点について考える。 【事後学習】2 時間 レポートを執筆する際の考え方や決まり事について復習する。
第 30 回	まとめ	後期の学習内容を振り返り，来年度の学習の目標を確認する。 【事前学習】2 時間 後期の資料を全体的に読み直し，内容を再確認する。 【事後学習】2 時間 春期休暇中の課題レポートに取り組むために必要な準備を行う。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	30%	40%	100%
評価の特記事項					
授業への参画度，発表や討論への取り組み，レポートなどを評価の対象とする。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
特になし。
オフィシアワー
授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
特になし。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	16
担当教員	篠ヶ谷 圭太	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では以下の能力を身につけることを目指します。 1) 教授・学習に関する心理学の理論（記憶、メタ認知、動機づけなど）について説明できる。 2) 教授・学習に関する心理学的な様々な研究法について理解し、説明できる。 3) 教授・学習に関する心理学研究の知見と自身の学習や教育実践の関連について説明できる。 4) 教授・学習に関する心理学研究の知見をもとに様々な意見や考えを比較し、統合することができる。 対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
この授業では、教授・学習過程に関する心理学の書籍や学術論文を精読し、その内容を資料にまとめて報告してもらいます。その上で、研究結果が実際に人に教える時、自分が学ぶ時にどのように活かせるかについて、学生同士で意見交換を行います。一連の活動を通じて、教授・学習過程に関する様々な理論や研究法の知識、分析結果を読み取り、批判的・論理的に思考する力、プレゼンテーションスキルとディスカッションスキルの獲得、向上を目指します。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	心理学の研究法①	教育心理学の研究領域や研究法，統計的な分析方法について解説する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 2 回	心理学の研究法②	教育心理学の研究領域や研究法，統計的な分析方法について解説する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 3 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 4 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 5 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 6 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。
第 7 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について，順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り，わかったこと，わからなかったことをまとめ，疑問点については情報探索を行う。

第 8 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 9 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 10 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 11 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 12 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 13 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 14 回	本の輪読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 15 回	まとめとふりかえり	授業で扱った内容全体を振り返り、教授・学習過程の理論と研究法に関する理解を深める。 【事前学習】2 時間

		授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で扱った内容全体を振り返り、自身の学習の深まりと広がりについてレポートにまとめる。
第 16 回	学術論文の精読と討議	指定された書籍の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 17 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 18 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 19 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 20 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 21 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 22 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間

		授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 23 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 24 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 25 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 26 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 27 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 28 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 29 回	学術論文の精読と討議	担当した論文の内容について、順番に報告する。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み、内容を自分なりに解釈した上で、疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだことや他の学生と議論したことを振り返り、わかったこと、わからなかったことをまとめ、疑問点については情報探索を行う。
第 30 回	まとめとふりかえり	授業で扱った内容全体を振り返り、教授・学習過程の理論と研究法に関する

		る理解を深める。 【事前学習】2 時間 授業資料を読み，内容を自分なりに解釈した上で，疑問点を把握しておく。 【事後学習】2 時間 授業で扱った内容全体を振り返り，自身の学習の深まりと広がりについてレポートにまとめる。
--	--	--

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	10%	0%	50%	40%	100%
評価の特記事項					
資料およびプレゼンテーションの質（40%）, 議論への参画度（50%）, レポート（10%）で評価します。					

テキスト
参考文献
市川伸一 学習と教育の心理学（現代心理学3） 岩波書店
オフィスアワー
月曜 14:30～16:00 水曜 10:40～13:00
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
積極的に自分の考えや解釈を伝え、他者の意見と統合して学習を深めようとする姿勢を強く求めます。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	17
担当教員	清水 純	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3124	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
現代の食文化をテーマとし、グループワークを通じて調査と分析の実践、文献資料検索と講読、プレゼンテーションの実践及び研究レポートの作成を行う。現代の食と食文化に関連する様々な観点からの問題意識を持てるようにし、調査や文献を通じて考察を進める。一年間に考察した成果は研究レポートにまとめる。 対応 DP および CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
前期は、グループに分かれてアンケート調査と文献講読を行い、研究結果の報告を行う。グループでの話し合いや分析などの分担作業を通じて、相互の協力関係を作り、研究をまとめる。夏休みはドキュメンタリー映画の視聴を行う。後期は、文献調査と商品調査を行い、グループメンバー間の分担作業により、研究を進めてプレゼンテーションを行う。前期の実践を踏まえ、年間を通じての研究成果を研究レポートにまとめる。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	授業の進め方	今年度の授業の進め方についてガイダンスと、アンケート調査実施のためのグループ分けを行う。 【事前学習】2 時間 食についての自分の関心あるテーマについて考えておく。 【事後学習】2 時間 グループメンバーとの間で授業ガイダンスの内容を再確認しておく。
第 2 回	アンケートテーマの選定	グループごとにアンケート調査のテーマ選定について検討し、テーマを決める。 【事前学習】2 時間 研究テーマの候補を考えておく。 【事後学習】2 時間 グループでの話し合いの結果をまとめておく。
第 3 回	アンケートの作成	グループ内で、アンケート項目について検討と設問作成を行う。 【事前学習】2 時間 アンケート項目を考えておく。 【事後学習】2 時間 分担項目について質問事項を作成しておく。
第 4 回	ゼミアンケートの完成と調査の実施	各グループのアンケートを統合してゼミ全体のアンケートをまとめる。 【事前学習】2 時間 各グループで作成したアンケートをまとめておく。 【事後学習】2 時間 分担してアンケート調査を行い、回答を集める。
第 5 回	アンケートの集計	グループごとに回答を集計し、グラフにして整理する。さらに集計結果とグラフを分析してどのようなことがいえるのか、グループごとに検討する。 【事前学習】2 時間 アンケート回答を整理しておく。 【事後学習】2 時間 授業内でのアンケートの分析の結果を報告にまとめる。
第 6 回	報告資料の作成	各グループで報告内容について話し合い、報告のための資料作成を完成させる。 【事前学習】2 時間 各自が担当部分についての発表資料原案を作成しておく。 【事後学習】2 時間 授業での検討内容を発表資料に反映させる。
第 7 回	アンケート結果報告	各グループが分析結果を報告し合い、ゼミ全体で分析結果について共有し、討論する。 【事前学習】2 時間 自分の担当分についてプレゼンテーションの仕方を工夫し、練習しておく。 【事後学習】2 時間 他のグループの報告内容にもとづき、分析結果や問題点を整理する。
第 8 回	講読	テキストの講読を開始し、各章の要点を要約して提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを準備し、序文と目次を読んでおく。 【事後学習】2 時間 自分が担当する章について、感想をまとめる。
第 9 回	講読	テキストの各章の要点を要約して提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間

		添削指導に基づき、レポートを修正する。
第 10 回	講読	テキストの各章の要点を要約して提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、レポートを修正する。
第 11 回	講読	自分の担当部分について、内容の要約を作成して提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 担当する箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、要約の修整を行う。
第 12 回	講読	自分の担当部分について、内容の要約を作成して提出し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 担当する箇所を読んでおく。 【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、要約の修整を行う。
第 13 回	プレゼンテーション資料の作成	読んだテキストの担当する箇所について、プレゼンテーション資料を作成し、添削を受ける。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成する。 【事後学習】2 時間 添削指導に基づき、プレゼンテーション資料を修正する。
第 14 回	研究報告	読んだ本の内容について報告を行う。担当者は自分が担当した部分について資料を使って発表する。 【事前学習】2 時間 担当者はプレゼンテーションの練習をしておく。 【事後学習】2 時間 各発表者のプレゼンテーションについて振り返り、発表資料の作り方や発表の仕方を参考にする。
第 15 回	講読	テキストの最終章を読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読んで要約レポートを作成する。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 16 回	後期の講読文献についての解説	後半の文献講読についてのガイダンスを行う。 【事前学習】2 時間 講読する文献の目次と序文を読んでおく。 【事後学習】2 時間 文献の講読を開始する。
第 17 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 18 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間

		添削に基づき、レポートを修正する。
第 19 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 20 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 21 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 22 回	講読	テキストを読んで要点をまとめ、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 テキストを読む。 【事後学習】2 時間 添削に基づき、レポートを修正する。
第 23 回	プレゼンテーション	担当者がテキスト内容の概要について報告する。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーション資料を用意する。 【事後学習】2 時間 他の発表者の資料の作り方や発表の仕方を振り返って参考にする。
第 24 回	調査	グループに分かれて、食品に関する調査を行う。 【事前学習】2 時間 自分の家の食品について調べておく。 【事後学習】2 時間 調査結果をグループ内で整理する。
第 25 回	報告資料の作成	グループごとに担当した調査の結果について分析を行い、報告資料を作成してゼミで共有する。 【事前学習】2 時間 調査結果についてグループ内でまとめておく。 【事後学習】2 時間 分析結果に従って、報告資料を修正する。
第 26 回	研究レポートの作成	調査結果を踏まえた研究レポートを作成し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 ゼミ全体の調査結果をまとめる。 【事後学習】2 時間 授業に基づき、分析内容について考察を深める。
第 27 回	研究レポートの作成	調査結果を踏まえた研究レポートの作成を開始し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 前期からの学習内容を盛り込んでレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 授業に基づき、分析内容について考察を深める。
第 28 回	研究レポートの作成	調査結果を踏まえた研究レポートの作成を開始し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 前期からの学習内容を盛り込んでレポートを作成する。 【事後学習】2 時間 授業に基づき、分析内容について考察を深める。

第 29 回	研究レポートの完成	調査結果を踏まえた研究レポートの作成を開始し、添削指導を受ける。 【事前学習】2 時間 他のグループの発表内容を要約しておく。 【事後学習】2 時間 授業内で討論した内容について要点をまとめる。
第 30 回	今年度の学習の総括	今年度行った調査、資料収集、分析、プレゼンテーション資料作成、プレゼンテーションの実践のプロセスについて振り返り、今年度のゼミでの学習を総括する。 【事前学習】2 時間 今年度の学習内容を復習しておく。 【事後学習】2 時間 授業を振り返り、今年の学習内容を再確認する。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
参考文献
オフィスアワー
相談が必要なときはいつでも G メールで相談を受け付けます。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	18
担当教員	杉藤 久志	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 4	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 中世という時代区分を中心としながら、西洋文化の基本となる思想の概要（特にキリスト教）を説明できるようになる。 2. 西洋文化について書かれた本を日常的に読み、その主題を要約して口頭および文章でまとめられるようになる。 3. 西洋文化のさまざまな側面についての知識を身につけるとともに、各分野への関心を自分の研究に関連づけられるような批評性を養う。 4. 日常的に感じている問題意識を発展させることで、継続して研究できる主題を探し、その研究に上記 1-3 の技術を統合できるようになる。 対応 DP および CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
本講義では、中世を中心としたヨーロッパ文化研究の基礎として、本格的な論文を書くための導入を行います。まずは主題として関心を持てるような分野を探すため、西洋における宗教、建築、社会、経済、文学など幅広い分野についての教科書を輪読します。そして担当範囲の概要を発表して人に伝えることにより、先行研究の要約と批判ができるよう練習します。最終的には、これらの知識や技術を学術論文の形式（議論とその論証）で表現できることが目標です。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	キリスト教化と西欧世界の成立 1	キリスト教がヨーロッパに広まった過程を学習します。土着の宗教とキリスト教の関係性に特に注目します。 【事前学習】2 時間 現在のヨーロッパにある国々の位置を、白地図で全て示せるようにしておくこと。テストを行う。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 2 回	キリスト教化と西欧世界の成立 2	キリスト教がヨーロッパに広まった過程を学習します。地方ごとの宗教の広まりの違いに注目します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 3 回	キリスト教化と西欧世界の成立 3	キリスト教がヨーロッパに広まった過程を学習します。異教徒であった人々に起こった心の変化に注目します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 4 回	ローマ・カトリック教会の発展 1 第 1 回ブックレポート提出	カトリック教会の成立と発展について学習します。教会の組織的な構造を中心に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 5 回	ローマ・カトリック教会の発展 2	カトリック教会の成立と発展について学習します。十字軍などの武力的なカトリック世界の拡大について学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 6 回	ローマ・カトリック教会の発展 3	カトリック教会の成立と発展について学習します。教皇権が強くなった過程を中心に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくる

		こと。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 7 回	中世後期の宗教生活 1	カテドラルや修道院における宗教的生活について学習します。当時の教会における時間や空間の仕組みを学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 8 回	中世後期の宗教生活 2 第 2 回ブックレポート提出	カテドラルや修道院における宗教的生活について学習します。教区の仕組みや、司祭の金銭的腐敗などを学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 9 回	中世後期の宗教生活 3	カテドラルや修道院における宗教的生活について学習します。死後の魂の救いのために祈りや共同体が形成された過程を学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 10 回	戦争の技術と社会 1	騎士という身分や戦争の技術的背景について学習します。騎馬で戦う技術の広がりについて中心的に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 11 回	戦争の技術と社会 2	騎士という身分や戦争の技術的背景について学習します。騎士という概念やその理想について中心的に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 12 回	戦争の技術と社会 3	騎士という身分や戦争の技術的背景について学習します。城の発展と大砲

	第 3 回ブックレポート提出	などの技術の推移について学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 13 回	貴族身分と封建制 1	封建制のさまざまな形式について学びます。ヨーロッパで権力が形成されていった過程を中心にまとめます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 14 回	貴族身分と封建制 2	封建制のさまざまな形式について学びます。貴族という身分や階級制度について考えます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 15 回	研究論文計画書の概要発表	研究論文の主題として選んだ分野と、その研究の動機について、計画書の概要を発表します。 【事前学習】2 時間 研究計画書の内容をわかりやすく伝えられるよう、発表準備をしておくこと。 【事後学習】2 時間 発表に対する教員やゼミ生のコメントをもとに、研究計画書を改良すること。
第 16 回	貴族身分と封建制 3	封建制のさまざまな形式について学びます。貴族がもたらした文化について考えます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 17 回	文書と法による統治 1	中世ヨーロッパにおける文書や写本の文化について学びます。当時の識字率や言語の変化を中心に学習します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 18 回	文書と法による統治 2	中世ヨーロッパにおける文書や写本の文化について学びます。文書と法律の

		関係を中心に学習します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 19 回	文書と法による統治 3 第 4 回ブックレポート提出	中世ヨーロッパにおける文書や写本の文化について学びます。文書と文字の意義を中心に考えます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 20 回	西欧的農業の誕生 1	ヨーロッパの農業が確立した過程を学びます。三圃制度の普及を中心に学習します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 21 回	西欧的農業の誕生 2	ヨーロッパの農業が確立した過程を学びます。農業と荘園の関係を中心に学習します。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 22 回	西欧的農業の誕生 3	ヨーロッパの農業が確立した過程を学びます。農業の発展がもたらした都市や文化への影響について考えます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 23 回	都市という環境 1 第 5 回ブックレポート提出	ヨーロッパにおける都市の存在意義を学習します。都市の始まりについて中心的に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間

		教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 24 回	都市という環境 2	ヨーロッパにおける都市の存在意義を学習します。地方ごとの都市の性質と空間的構造について学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 25 回	都市という環境 3	ヨーロッパにおける都市の存在意義を学習します。都市環境と自治意識を中心に学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 26 回	衣服とファッション 1	西洋の服飾文化ができた過程について学習します。上下に分かれた服が誕生した経緯を学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 27 回	衣服とファッション 2 第 6 回ブックレポート提出	西洋の服飾文化ができた過程について学習します。衣服が持つ階級・集団的な意味について学びます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。 ブックレポートに対するコメントをふまえ、次の読書計画を考えること。
第 28 回	衣服とファッション 3	西洋の服飾文化ができた過程について学習します。ジェンダーや感情など、服を通じた表象について考えます。 【事前学習】2 時間 教科書の続きを読み、関心のある部分についての質問と分析を準備してくること。発表者は、教科書の内容を主張と具体例に分類し、文章の構造を理解した上で要約を作成すること。 【事後学習】2 時間 教科書で扱った範囲をもう一度読み、研究に活用したい部分を記録して、後から確認できるようにしておくこと。
第 29 回	研究中間報告 1	研究論文の序章にあたる部分について口頭発表を行い、聞き手は自分の研究活動を活かした質問とコメントをします。 【事前学習】2 時間

		研究論文の概要をわかりやすく伝えられるよう、発表準備をしてくる。 【事後学習】2 時間 発表に対する教員やゼミ生のコメントをもとに、論文を改良すること。
第 30 回	研究中間報告 2	研究論文の序章にあたる部分について口頭発表を行い、聞き手は自分の研究活動を活かした質問とコメントをします。 【事前学習】2 時間 研究論文の概要をわかりやすく伝えられるよう、発表準備をしてくる。 【事後学習】2 時間 発表に対する教員やゼミ生のコメントをもとに、論文を改良すること。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	70%	0%	30%	0%	100%
評価の特記事項					
「授業への参画度」には、発表およびブックレポート提出が含まれます。「レポート」は、前期末の「研究論文計画書」および後期末の「研究論文序章」により評価します。					

テキスト
堀越宏一、甚野尚志編著『15 のテーマで学ぶ中世ヨーロッパ史』（ミネルヴァ書房、2013 年）3,500 円（+税）
参考文献
山我哲雄、『キリスト教入門』（岩波書店、2014 年） 浅野和生、『ヨーロッパの中世美術』（中央公論新社、2009 年） J・ル＝ゴフ、池田健二・菅沼潤訳、『中世とは何か』（藤原書店、2005 年）
オフィスアワー
火曜 5 限に質問や相談を受け付けます。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールで文章を読むときは、発表者であるかどうかにかかわらず、常に自分の研究との関係を考えながら批判的に取り組むようにしてください。その際、表面的な言葉を気にするのではなく、抽象的な構造における物事の類似を考えることが重要です。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	19
担当教員	鈴木 基子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本授業では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 中国語検定 3 級レベルの実力が身につく。 2. 中国の生活と文化を、日本との比較において考察する視点をもつ。 3. 新聞やニュースの中国関係の問題が理解できる。 対応 D P 及び C P : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
1. 中国は日本人の生活と密接な関係をもつ隣国である。中国で話されている標準語（普通話）を学び、背景となる文化への理解を伴うことにより、真の意思疎通とコミュニケーションができるようにする。中国語力の養成とともに、現代中国を知ることには力点を置く。 2. 既習の初級文法事項を確認しながら、中級レベルの実用中国語を学ぶ。異文化コミュニケーションをテーマとしたテキストを使用し、「ひとりっ子の問題」「若者の就職活動」「結婚」「中華料理」「漢方と医療」「高齢化問題」「春節」などのテーマを学ぶ。サブテキストを使用して、日本人と中国人のコミュニケーションスタイルの相異、中国の伝統文化と生活習慣を学習する。 3. 中国の最新ニュースを取り上げ、社会への理解を深める。 4. ミュージカル「李香蘭」ドラマ「大地の子」或いは「未完の対局」「満蒙開拓団」「梅蘭芳」「台湾人生」の一部を観賞し、日中近現代史について思索する。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	1 年生の復習 Q&A	1 年生の学習内容を復習する。 1 年間の授業の方法について、説明する。 『Q&A でわかる中国人との付き合い方 (以下、Q&A と表記)』の例 1 - 2 (面子の問題)を学ぶ 【事前学習】2 時間 1 年生で学んだ内容をしっかりおさらいしておく。 【事後学習】2 時間 年間予定表と分担を把握し、自分の発表とレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 2 回	第 1 課 本文・文法 Q&A	第 1 課 両替 1. 除了…以外 2. 不用 3. nadao 4. 結果補語 Q&A 例 3-6 (面子の問題、コミュニケーションスタイルの相違) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	第 1 課 練習 Q&A	第 1 課 いぶこみポイント 1. 公共施設 2. 中国人の収入 3. 消費観念 4. VIP カード 練習問題 富裕層 Q&A 例 7-10 (コミュニケーションスタイルの相違) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	第 2 課 本文・文法 Q&A	第 2 課 小学校の校門前で 1. 存現文 2. 看起来 3. shenmede 4. 家族の図 Q&A 例 11-14 (コミュニケーションスタイルの相違) 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	第 2 課 練習 Q&A	第 2 課 いぶこみポイント 1. 中国の小学校 2. 人口問題 3. ひとりっ子政策 4. 子どもの出世を願う 練習問題

		中国の教育（学校制度、試験制度、人間性を育てる教育） Q&A 例 15-18（コミュニケーションスタイルの相違） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	第 3 課 本文・文法 Q&A	第 3 課 朝の公園 1.感嘆文 2.zenmeban 3.或者 4.健康に関することわざ Q&A 例 19-22（人間関係と家族関係） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	第 3 課 練習 Q&A	第 3 課 いぶこみポイント 1.定年 退職年齢 2.退職後の生活 3.スポーツジム 4.ことわざと中国人の健康観念 練習問題 中国人の娯楽 Q&A 例 23-26（人間関係と家族関係、会社と個人） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	映画鑑賞	【事前学習】2 時間 映画に関する資料を収集する。 【事後学習】2 時間 映画の資料を読み込む。
第 9 回	映画鑑賞	【事前学習】2 時間 映画の資料を読み込む。 【事後学習】2 時間 映画を見て、考えたことをレポートにまとめる。
第 10 回	第 4 課 本文・文法 Q&A	第 4 課 若者の就職観 1.難＋動詞、好＋動詞 2.在…的時候 3.認為 4.覺得 Q&A27-30（会社と個人、生活習慣） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 11 回	第 4 課 練習 Q&A	第 4 課 いぶこみポイント 1.若者の就職

		2.公務員 3.転職 4.若者の夢 練習問題 就職（分配制度、大学生の就職状況） Q&A 例 31-34（生活習慣） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	第 5 課 本文・文法 Q&A	第 5 課 お見合い 1.聴説 2.無論是…haishi 3.應該 4.一日の行動で使う動詞 Q&A 例 35-38（生活習慣） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	第 5 課 練習 Q&A	第 5 課 いぶこみポイント 1.結婚年齢 2.結婚後の生活 3.結婚しない女性 4.婚礼費用 練習問題 Q&A 例 39-42（生活習慣） 恋愛と結婚（親の命令と仲人の取り持ち、自由恋愛結婚） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	第 6 課 本文・文法 Q&A	第 6 課 甥の結婚新居 1.好像 2.就要…了 3.畢竟 4.助数詞 例 43-46（生活習慣、同形意義語） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	第 6 課 練習 Q&A	第 6 課 いぶこみポイント 1.結婚用の新居 2.住宅ローン 3.家も車もない結婚 4.家を借りて結婚する 練習問題

		中国の住宅事情（福祉住宅、住宅難、住宅制度改革） Q&A 例 47-50（中国人の価値観） 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	第 7 課 本文・文法 エピソード	第 7 課 嫁姑関係 1.どこか、なにか 2.従…到 3.照、按照 4.心情を表す語 『中国語エピソード 1 0 0（以下、エピソードと表記）』1-7 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	第 7 課 練習 エピソード	第 7 課 いぶこみポイント 1.夫の両親に仕える 2.「七出」 3.嫁姑関係 4.嫁姑ドラマ 練習問題 陸游と唐わん エピソード 8-14 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	第 8 課 本文・文法 エピソード	第 8 課 四川料理 1.就是 2.複合方向補語 3.既…又… 4.色彩 エピソード 15-21 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	第 8 課 練習 エピソード	第 8 課 いぶこみポイント 1.中国の行政区分 2.四川省 3.若者の飲食 4.「月光族」 練習問題 中華料理 エピソード 22-27 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	第 9 課 本文・文法 エピソード	第 9 課 中国の医薬 1.やはり 2.比較 3.在…中、在…里 4.形容詞 エピソード 28-34 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	第 9 課 練習 エピソード	第 9 課 いぶこみポイント 1.大学付属病院 2.医師の収入 3.農民の健康保険 4.外資系病院 練習問題 薬局 民間療法 エピソード 35-41 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	映画鑑賞 エピソード	エピソード 42-48 【事前学習】2 時間 映画関連資料を収集する。 【事後学習】2 時間。 資料を読み込む。
第 23 回	映画鑑賞 エピソード	エピソード 49-55 【事前学習】2 時間 資料を読み込む。 【事後学習】2 時間 映画について、考察したことを、レポートにまとめる。
第 24 回	第 10 課 本文・文法 エピソード	第 10 課 重陽の節句 1.将 2.尽快 3.譲 エピソード 56-62 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	第 10 課 練習 エピソード	第 10 課 いぶこみポイント 1.四世代同居 2.高齢者問題 3.扶養義務

		4.親孝行 練習問題 中国の祝祭日 エピソード 63-69 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	第 1 1 課 本文・文法 エピソード	第 1 1 課 旅行 1. 如果…的話 2. 剛 3. 連…都 4. PC 語彙 エピソード 70-76 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	第 1 1 課 練習 エピソード	第 1 1 課 いぶこみポイント 1. 旅行の昨今 2. 新婚旅行 3. 訪日観光客 4. 老年層の旅行団 練習問題 中国の世界遺産 エピソード 77-83 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	第 1 2 課 本文・文法 エピソード	第 1 2 課 除夜 1. どう、どのように 2. 為 3. 有的 4. お祝いの言葉 エピソード 84-89 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	第 1 2 課 練習 エピソード	第 1 2 課 いぶこみポイント 1. 春節の縁日 2. 年画、福字 3. 獅子舞、龍舞 4. 若者の春節 練習問題 元宵節 新年のあいさつ

		エピソード 90-95【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	まとめ	中国の英雄 中国の古典詩 エピソード 96-100 【事前学習】2 時間 自分が報告する箇所を読み、レポートを作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	70%	0%	100%
評価の特記事項					

テキスト
相原茂・蘇明『日中いぶこみ 1 2 景』朝日出版社 本名信行・羅華『Q&A でわかる中国人とのつき合いかた』大修館書店 相原茂・朱『Podcast で学ぶ中国語エピソード 1 0 0 』同学社
参考文献
中国語検定問題集 4 級 中国語検定問題集 3 級 授業時に適宜紹介する。
オフィスアワー
事前にメールでアポイントを取ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻・私語などほかの学生の迷惑になる行為は厳禁。 担当者は、分担されたところのペーパー資料を作成して、発表に臨むこと。 担当者以外も、予習復習に努めること。
授業用 URL
http://www.eco.nihon-u.ac.jp/
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	20
担当教員	武廣 亮平	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
このゼミでは以下の知識や能力を身に付けることを目指す。 1. 歴史を深く掘り下げて研究することで、歴史的事象の分析・考察・理解力を高める。 2. 研究発表を通して文章力、表現力のスキルアップを図る。 3. 「歴史」という観点から現代社会を見通す力を養う。 対応 DP 及び CP 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
このゼミでは、歴史のさまざまなテーマに関する研究を、個別研究、共同研究という2つの形式で行う。個別研究では、まずテーマの選定と研究史の整理、参考文献リストの作成といった基礎的な作業を行い、それに基づいて研究を深める。テーマは政治・制度史、文化史などから地域史など多岐にわたるが、それぞれのテーマに対応した指導を行う。なお前期にはゼミ生各自の郷里についての発表も実施する。後期は個別研究とともに共同研究を行う。こちらは主に大学周辺の歴史・文化を取り上げ、グループ別のテーマ研究という方式をとる。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	オリエンテーションと年間予定	ゼミの概要（目的と意義、年間スケジュールなど）についての説明を行う 【事前学習】2 時間 ゼミ入室試験時の提出課題、研究希望テーマの再確認 【事後学習】2 時間 1 年間のスケジュールの確認
第 2 回	歴史研究の文献と史料	歴史研究の基本的な文献や史料について説明する 【事前学習】2 時間 事前配布資料の内容確認 【事後学習】2 時間 授業で紹介した文献の検索
第 3 回	「地域史」について	歴史的な観点から「地域」を考える 【事前学習】2 時間 事前配布資料の内容確認と課題取り組み 【事後学習】2 時間 ゼミ生各自の「地域」資料の検索等
第 4 回	地域史研究発表ガイダンス	ゼミ生による発表「地域史研究」のガイダンス 【事前学習】2 時間 事前配布資料の内容確認 【事後学習】2 時間 ゼミ生各自による発表資料の作成
第 5 回	地域史研究発表と質疑応答①	ゼミ生による各自の「地域史研究」発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 6 回	地域史研究発表と質疑応答②	ゼミ生による各自の「地域史研究」発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 7 回	地域史研究発表と質疑応答③	ゼミ生による各自の「地域史研究」発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 8 回	地域史研究発表と質疑応答④	ゼミ生による各自の「地域史研究」発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 9 回	地域史研究発表と質疑応答⑤	ゼミ生による各自の「地域史研究」発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関するゼミ生各自の追加研究とその成果物の提出
第 10 回	地域史研究発表総括	「地域史研究」発表の総括と課題、共通論点の確認 【事前学習】2 時間 これまでの発表内容の内容整理 【事後学習】2 時間

		総括をうけた各自の発表の内容検証
第 11 回	日本史関係データベースの活用	大学、図書館における日本史関係のデータベース活用術を学ぶ 【事前学習】2 時間 PC から日本史関係データベースを探す 【事後学習】2 時間 授業で紹介されたデータベースを閲覧する
第 12 回	文献目録の作成について	個人研究テーマに関する文献目録の作成指導 【事前学習】2 時間 個人研究テーマの設定 【事後学習】2 時間 ゼミ生各自による文献目録の作成
第 13 回	夏季学外研修準備作業①	夏季学外研修に関する準備作業（資料収集編） 【事前学習】2 時間 学外研修に関する資料の収集 【事後学習】2 時間
第 14 回	夏季学外研修準備作業②	夏季学外研修に関する準備作業（資料作成編） 【事前学習】2 時間 前回収集した資料の検討 【事後学習】2 時間 作成した資料による予習
第 15 回	前期総括	前期の内容のまとめと後期に向けての課題の提示 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自による前期発表の振り返り 【事後学習】2 時間 後期の個人研究発表に向けての準備と
第 16 回	後期ゼミの予定と発表テーマの確認	後期ゼミのスケジュール概要と、個人研究発表テーマの報告 【事前学習】2 時間 個人研究テーマと発表内容の確認 【事後学習】2 時間 研究発表の準備作業
第 17 回	共同研究ガイダンス	2・3 年生の共同研究に関するガイダンス 【事前学習】2 時間 事前に配布した共同研究資料の内容確認 【事後学習】2 時間 グループによる研究テーマの設定
第 18 回	共同研究グループワーク①	設定した共同研究テーマに関するグループワーク 【事前学習】2 時間 各自の担当項目に関するグループ別事前学習 【事後学習】2 時間 グループワークの内容と成果の整理
第 19 回	共同研究グループワーク②	設定した共同研究テーマに関するグループワーク 【事前学習】2 時間 各自の担当項目に関するグループ別事前学習 【事後学習】2 時間 グループワークの内容と成果の整理
第 20 回	共同研究関連史料の講読	共同研究に関連する史料の講読 【事前学習】2 時間 事前に配布した史料の下読みと語句調べ 【事後学習】2 時間 講読史料の読みと解釈のまとめ
第 21 回	グループ発表資料の作成	グループ発表資料を各グループで作成する 【事前学習】2 時間

		発表資料の作成 【事後学習】2 時間 作成資料の見直しと加筆・修正
第 22 回	共同研究グループ発表と講評①	共同研究のグループ発表を行う 【事前学習】2 時間 発表内容の確認と発表原稿の作成 【事後学習】2 時間 質問や意見をうけた発表内容の振り返り
第 23 回	共同研究グループ発表と講評②	共同研究のグループ発表を行う 【事前学習】2 時間 発表内容の確認と発表原稿の作成 【事後学習】2 時間 質問や意見をうけた発表内容の振り返り
第 24 回	個人研究発表と質疑応答①	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関する評価と課題の整理
第 25 回	個人研究発表と質疑応答②	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関する評価と課題の整理
第 26 回	個人研究発表と質疑応答③	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関する評価と課題の整理
第 27 回	個人研究発表と質疑応答④	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関する評価と課題の整理
第 28 回	個人研究発表と質疑応答⑤	ゼミ生による個人研究発表と質疑応答 【事前学習】2 時間 事前に配布した発表資料の通読と質問事項等の確認 【事後学習】2 時間 発表内容に関する評価と課題の整理
第 29 回	年中进行事を考える	年末・年始の年中进行事を通して「地域」の特質を考える 【事前学習】2 時間 ゼミ生各自による実家の年中进行事調査 【事後学習】2 時間 調査内容のまとめと提出
第 30 回	年間総括	ゼミ活動の年間総括と教員による講評 【事前学習】2 時間 各自の発表内容の確認 【事後学習】2 時間 次年度の教養研究（二）に向けての準備

授業形式

・質問等のフィードバックは、講義内で行います。

・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	80%	0%	100%
評価の特記事項					
特に発表時における積極的な質問や意見を評価する。					

テキスト
特に指定はしない。必要に応じて資料を事前に配布する。
参考文献
オフィスアワー
木曜日 1・2 時限目
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	21
担当教員	田村 真奈美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3104	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
①イギリスに暮らす人々の習慣、考え方について、文献を読んで理解を深める。 ②19 世紀英国の社会・文化のさまざまな側面について、絵画を通じて理解する。 ③調べて学んだこと、考えたことを、聞き手にわかりやすく発表できる。 ④ディスカッションにおいて、自分とは違うものの見方、考え方に対して興味を持ち、意見のやり取りを楽しむことができる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
イギリスについて、19 世紀から現代までを視野に文化のさまざまな側面について学ぶと同時に、自国の文化とも比較して考えてゆきます。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容と教材、授業の進め方について説明します。また、次回までの事前学習についても詳しく説明します。 【事前学習】2 時間 EcoLink のメッセージを読み、Google Classroom にアクセスしておく。 【事後学習】2 時間 受講方法を再度確認して、わからないことがあったら EcoLink あるいは Gmail で質問する。
第 2 回	Watching the English (The Weather)	The Weather の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 3 回	Watching the English (The Weather)	The Weather の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 4 回	Watching the English (The Weather)	The Weather の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 5 回	Watching the English (The Weather)	The Weather の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 6 回	Watching the English (The Weather)	The Weather の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 7 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。

第 8 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 9 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 10 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 11 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 12 回	Watching the English (Food Rules)	Food Rules の章を輪読する。各自あらかじめ決められた担当箇所を音読した後、内容を日本語で説明する。その後意見を交換し、教員が解説を加える。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 13 回	Watching the English (Food Rules) グループワーク	Food Rules の章についてグループワークを行う。担当箇所についてグループで読み、解釈をまとめる。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 14 回	Watching the English (Food Rules) グループワーク	引き続きグループワークを行う。担当箇所について解釈をまとめ、発表に向けてパワーポイント資料の作成にとりかかる。 【事前学習】2 時間 担当箇所を精読し、日本語で要旨をまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 15 回	Watching the English (Food Rules) グループワーク	引き続きグループワークを行う。発表に向けてパワーポイント資料を完成させる。また、必要に応じて発表原稿を作成する。 【事前学習】2 時間 資料作成に必要な画像データ等を収集しておく。 【事後学習】2 時間

		授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 16 回	Watching the English (Food Rules) グループ発表	前期に作成した資料を用いてグループで発表し、その後質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 資料を共有し、発表原稿をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 発表を振り返り、良かった点、注意すべき点を再確認する。
第 17 回	Watching the English まとめ	Watching the English の The Weather と Food Rules の各章について振り返り、ディスカッションします。 【事前学習】2 時間 The Weather と Food Rules の章を読み返しておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 18 回	後期授業への導入	後期授業の内容と進め方について説明します。また、次回までの事前学習についても詳しく説明します。 【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップする資料をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 受講方法を再度確認して、わからないことがあったら EcoLink あるいは Gmail で質問する。
第 19 回	群衆絵画 1 (余暇、海浜リゾート、旅行)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 20 回	群衆絵画 2 (階級、競馬)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 21 回	群衆絵画 3 (鉄道、駅、運輸・交通手段)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 22 回	労働者 (工業都市、工場労働、労働賛美、児童労働)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 23 回	労働者 (都市の貧困、救貧法改正、workhouse)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 24 回	女性 (ヴィクトリア女王、肖像画、イメージ戦略)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 25 回	女性 (「墮ちた女性」、女性の権利)	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。

		【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 26 回	女性（働く女性、女子教育と職業）	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 27 回	帝国（第 1 回万国博覧会）	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 28 回	帝国（植民地支配）	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 29 回	ラファエル前派、Arts and Crafts 運動	あらかじめ指名された学生の発表に引き続き、質疑応答を行う。 【事前学習】2 時間 指定された絵画をインターネット上で探して見ておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し、わからないことがあったら質問できるようにしておく。
第 30 回	まとめ	1 年間の授業を振り返り、学習内容をまとめます。 【事前学習】2 時間 これまでの授業を振り返り、疑問点などをまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業で学んだ内容を参考に、各自、研究したいテーマを明確にしておく。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	0.6	40%	100%
評価の特記事項					
その他は後期の発表の評価です。					

テキスト
必要な資料は Google Classroom を通じて配布します。
参考文献
授業中に指示します。
オフィスアワー
EcoLink のメッセージ、あるいは Gmail で連絡してください。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
前期は輪読とグループワーク、後期は発表形式で授業を進めます。受講の仕方は授業内で説明します。欠席するときは必ず連絡すること。無断欠席は認めません。授業には積極的に参加してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	22
担当教員	鄭 亨奎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3135	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
日本と中国の文化の特質を把握し、共通点と相違点を認識することができる。 テーマを設定し、資料を調べ、自ら分析し、それをまとめて発表することができる。 ゼミナールでの発表を通じてプレゼンテーション能力を高めることができる。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
日本と中国の言語、歴史、社会など文化全般について学び、両者を比較しながら研究を進める。同じ漢字でもどうして意味がこんなに違うのか。似て非なる異文化現象の根源はどこにあるのかなど、日常生活の中でも常に体験し、疑問に思われている事例をとりあげ、その背後にある文化的・社会的要因について考察する。 日中の文化、日中関係に関する資料を読み、その内容をめぐって全員でディスカッションをする。 順番に学習した内容或いは関連する内容をめぐりプレゼンテーションを行い、質疑応答をする。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	ゼミナールの内容・形式，評価方法，履修上の注意点について説明する。 ゼミ生の自己紹介他。
第 2 回	東洋思想	A:文献講読： 東洋思想(プリント) B:ディスカッション
第 3 回	儒教思想	A:文献講読： 儒教思想(プリント) B:ディスカッション
第 4 回	仏教思想	A:文献講読： 仏教思想 (プリント) B:ディスカッション
第 5 回	道教思想	A:文献講読： 道教思想 (プリント) B:ディスカッション
第 6 回	発表 1	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 7 回	漢字文化圏	A:文献講読： 漢字文化圏 (プリント) B:ディスカッション
第 8 回	漢字の発想	A:文献講読： 漢字の発想(プリント) B:ディスカッション
第 9 回	表意文字の感性	A:文献講読： 表意文字の感性 (プリント) B:ディスカッション
第 10 回	発表 2	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 11 回	日・中両国文化の異質性	A:文献講読： 日・中両国文化の異質性 (プリント) B:ディスカッション
第 12 回	島文化	A:文献講読： 島文化 (プリント) B:ディスカッション
第 13 回	大陸文化	A:文献講読： 大陸文化 (プリント) B:ディスカッション
第 14 回	発表 3	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 15 回	日中の言語と文化	A:文献講読： 日中の言語と文化(プリント) B:ディスカッション
第 16 回	中国語と日本語の特質	A:文献講読： 中国語と日本語の特質(プリント) B:ディスカッション
第 17 回	世界の中の日本語と中国語の位置	A:文献講読： 世界の中の日本語と中国語の位置(プリント) B:ディスカッション
第 18 回	発表 4	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 19 回	日中飲食文化の相違	A:文献講読： 日中飲食文化の相違(プリント) B:ディスカッション
第 20 回	日中茶文化の相違	A:文献講読： 日中茶文化の相違 (プリント) B:ディスカッション
第 21 回	発表 5	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 22 回	近代における中国文化の逆輸入	A:文献講読： 近代における中国文化の逆輸入(プリント) B:ディスカッション
第 23 回	近代日本-中国と西洋の懸け橋	A:文献講読： 近代日本-中国と西洋の懸け橋(プリント) B:ディスカッション
第 24 回	発表 6	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 25 回	日中国交正常化(1)	A:文献講読： 日中国交正常化(1)(プリント)

		B:ディスカッション
第 26 回	日中国交正常化(2)	A:文献講読：日中国交正常化(2)(プリント) B:ディスカッション
第 27 回	発表 7	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答
第 28 回	日中平和友好条約(1)	A:文献講読：日中平和友好条約(1)(プリント) B:ディスカッション
第 29 回	日中平和友好条約(1)	A:文献講読：日中平和友好条約(2)(プリント) B:ディスカッション
第 30 回	発表 8	A:ゼミ生のプレゼンテーション B:質疑応答

授業形式
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
評価方法「その他」はプレゼンテーションについての評価で、原則パワーポイントを使って発表してもらいたい。 棒読みではなく、自分の言葉で発表されているかどうか重要である。					

テキスト
参考文献、記事などから抜粋し、プリントにして配布する。
参考文献
『日中韓三国の比較文化論』王少峰 2000 明石書店 『日中文化比較研究』李素模 1999 文化書房博文社 『日中関係史』国分良成他 2014 有配斐閣
オフィスアワー
月曜日 18:00～19:00、3 号館 14 階の研究室にいます。事前にアポイントをとり、指示された時間帯に来ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
配布された資料は事前に予習し、授業では積極的に自分の意見を発表してもらいたい。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	23
担当教員	徳永 志織	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	火 2	単位区分	選
講義室	7062	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
この授業では、以下の能力を身につけることを目指します。 ・スペイン語の基礎を身につけ、簡単な会話ができる。 ・辞書を使い、初中級程度のスペイン語で書かれた様々なタイプの文献を読むことができる。 ・スペイン語成立の過程をイベリア半島の歴史とともに理解し、説明することができる。 ・外国語を使うために必要なことを理解し、それを実践に役立たせることができる。 対応 DP 及び CP:1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
スペイン語の基礎力をアップさせ、語学の 4 技能を習得することを目的とし、語学習得には不可欠な文化・社会についても概観し、またスペイン語の成立過程をイベリア半島の歴史とともに学びます。 そして、「外国語を使える」ということについても考えていきます。語学習得に欠かせない文法は、発信者が自分の考えを受信者に伝え、また受信者が発信者の言いたいことを適切に理解するための仲介役として働くもので、発信者と受信者の間で共有していなければ言葉でお互いに理解しあうことができない大切なものです。「使える外国語」を習得する、ということを、ゼミでも考えてみましょう。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	[事前学習]2 時間 スペイン語で自己紹介ができ、簡単な質問に答えられるようにしておく。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 2 回	スペイン語を概観する	[事前学習]2 時間 スペイン語とはどのような言語か、その概観をつかんでおく。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 3 回	スペインの言語と歴史 I：ローマ支配前のイベリア半島	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 4 回	スペインの言語と歴史 II：ローマ支配下のイベリア半島	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 5 回	スペインの言語と歴史 III：イベリア半島の言語状況	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 6 回	スペインの言語と歴史 IV：西ゴート王国時代のイベリア半島	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 7 回	スペインの言語と歴史 V：イスラム教徒の侵入	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 8 回	スペインの言語と歴史 VI：イスラムスペインの文化	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 9 回	スペインの言語と歴史 VII：レコンキスタ	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 10 回	スペインの言語と歴史 VIII：レコンキスタの完了	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 11 回	スペインの言語と歴史 IX：カスティーリャ語の台頭	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 12 回	スペインの言語と歴史 X:アラビア語の影響	[事前学習]2 時間 この時代のイベリア半島について、調べておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 13 回	スペインの歴史：総復習	[事前学習]2 時間

		スペインの歴史について、簡単に説明できるようにしておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 14 回	歴史的観点からみたスペイン語：総復習	[事前学習]2 時間 スペイン語の成立過程を復習しておくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 15 回	プレゼンテーション：これまでに学習したことから興味のあるテーマについて掘り下げ、プレゼン資料を用いて発表する。	[事前学習]2 時間 プレゼンテーション用資料を作成する。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 16 回	スペイン語の資料を読む：地理	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 17 回	スペイン語の資料を読む：ローマ支配前のイベリア半島	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 18 回	スペイン語の資料を読む：ローマ帝国及び西ゴート王国時代のイベリア半島	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 19 回	スペイン語の資料を読む：アル・アandalスとレコンキスタ	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 20 回	スペイン語の資料を読む：カトリック両王以前	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 21 回	スペイン語の資料を読む：カトリック両王	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 22 回	スペイン語の資料を読む：新大陸へ	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 23 回	プレゼンテーション：前期に発表したテーマについて、スペイン語で発表する。	事前学習]2 時間 プレゼンテーション用資料を作成する。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。
第 24 回	スペイン語の資料を読む：20 世紀のスペイン（第二共和政）	[事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 25 回	スペイン語の資料を読む：20 世紀のスペイン（スペイン内戦）	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。

第 26 回	スペイン語の資料を読む： 20 世紀のスペイン（フランコ 政権下のスペイン）	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 27 回	スペイン語の資料を読む： 20 世紀のスペイン（民主 化）	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 28 回	スペイン語の資料を読む： 現在のスペイン	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 29 回	スペイン語の資料を読む： 現在のスペイン（言語状 況）	事前学習]2 時間 資料をよく読んでおくこと。 [事後学習]2 時間 授業内容を復習し、授業時に提示した課題に取り組むこと。
第 30 回	プレゼンテーション：20 世紀 以降のスペインについて、興 味のあるテーマでプレゼンテ ーションを行う。	事前学習]2 時間 プレゼンテーション用資料を作成する。 [事後学習]2 時間 他のゼミ生の発表についてコメントする。

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
プレゼンテーション、レポートにおいて、無記名のネット記事は参考文献としては認められない。また、ネットの情報のみではなく、紙媒体（電子書籍含む）の文献を使用すること。					

テキスト
資料を配布する。
参考文献
授業時に提示する。
オフィスアワー
必要なときにはメールで連絡をとること。そのうえで日時を調整する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
無断遅刻・欠席は厳禁とする。 日本国内のみではなく、海外のニュースにも注意し、様々な情報を入手すること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	24
担当教員	中嶋 康裕	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 5	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
生物学のさまざまな課題に触れ、それらを自分で調べて、そして考えて理解する。 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
それぞれが設定した課題に取り組んで、まとめた成果をクラスで発表できるようになる。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	今年度ゼミ運営方針などの説明	自己紹介・今年度の方針、行事予定の説明 〔事後学習〕 2 時間 本日の講義内容を復習する。
第 2 回	施設見学	見学会（サンシャイン水族館） 〔事前学習〕 2 時間 見学施設について予習する。 〔事後学習〕 2 時間 見学施設について復習する。
第 3 回	植物栽培	植物（花）栽培の説明 〔事前学習〕 2 時間 どんな植物を栽培するか予習する。 〔事後学習〕 2 時間 講義内容を踏まえて、栽培する植物について予習する。
第 4 回	植物栽培補足	実施が困難なゼミ生への指導 〔事前学習〕 2 時間 どんな植物を栽培するか予習する。 〔事後学習〕 2 時間 講義内容を踏まえて、栽培する植物について復習する。
第 5 回	輪読	輪読前期第 1 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 6 回	施設見学の総括	見学した施設について話し合う 〔事後学習〕 2 時間 見学施設について復習する。
第 7 回	輪読	輪読前期第 2 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 8 回	個人課題	それぞれの前期個人課題の提案 〔事前学習〕 2 時間 提案内容を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生が紹介した内容を復習する。
第 9 回	植物栽培	植物中間報告 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 10 回	個人課題予告	個人課題について ppt ファイル 3 枚以内で紹介する 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 11 回	輪読	輪読第 3 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。

		〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 12 回	個人課題	前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 13 回	個人課題	前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 14 回	個人課題	前期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 15 回	植物栽培	植物栽培結果報告 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 16 回	後期予定	後期のゼミ予定を紹介する 〔事後学習〕 2 時間、 本日の講義内容を復習する。
第 17 回	輪読	輪読後期第 1 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 18 回	人間観察	普段の登下校時と異なる時刻に自宅近くの駅を観察して、人々の様子がどこか異なるか考察する 〔事前学習〕 2 時間 観察項目を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 観察結果を、復習する。
第 19 回	人間観察	前回気づいた点に注意して、さらに観察して、なぜ異なるのか考察する 〔事前学習〕 2 時間 観察項目を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 観察結果を、復習する。
第 20 回	輪読	輪読後期第 2 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 21 回	人間観察のまとめ	駅で観察した結果を発表する 〔事前学習〕 2 時間 発表内容を予習する。 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の発表を復習する。
第 22 回	就活報告会	ゼミの先輩の報告を聞く

		〔事前学習〕 2 時間 就活状況について予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 23 回	個人課題予告	前期と同じく、個人課題について ppt ファイル 3 枚以内で紹介する 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 24 回	輪読	輪読後期第 3 回 〔事前学習〕 2 時間 指定ページを読んで予習する。 〔事後学習〕 2 時間 紹介された内容を踏まえて、復習する。
第 25 回	個人課題	後期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 26 回	個人課題	後期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 27 回	個人課題	後期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 28 回	個人課題	後期個人課題発表（3 名程度） 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する
第 29 回	4 年生卒論発表	ゼミ 4 年生の卒論発表を聞く 〔事後学習〕 2 時間 4 年生の報告を復習する
第 30 回	来年度に向けての総括	今年度の問題点を検討する 〔事前学習〕 2 時間 報告する内容を予習する 〔事後学習〕 2 時間 他のゼミ生の報告を復習する

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	50%	50%	100%
評価の特記事項					
ゼミへの出席と、発表をそれぞれ 50%で評価する。					

テキスト
なし
参考文献
なし
オフィスアワー
随時メールなどで相談する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
授業用 URL
https://classroom.google.com/u/0/c/OTY0NDEzNjI0NjJa
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究（一）	クラス	
担当教員	中村 光宏	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3125	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
私たちが日常的に使用している「ことば」を言語学・音声学の観点から分析し、その構造を理解し、説明できるようになることを目標とします。また、新聞などで取り上げられる言語表現や商品ネーミングなどを言語学的観点から分析し、「ことば」と現代社会との関係を考察できるようになることを目指します。このような学習活動を通して、言語学・音声学の考え方を理解し、「ことば」を通して現代社会（社会・経済的側面）を捉え、説明できるようになることを目指します。 対応 DP 及び CP：1，2，6，7，8
授業概要（教育目的）
言葉によるコミュニケーション全般を対象として研究を進めます。具体的には、日本語や英語に観察される発音・表現・文法的特徴に焦点を絞り、様々な言語資料を収集して調査分析します。例えば、なぜ英語の発音を難しい（と感じる）のでしょうか、なぜ若者は「やばい」を「すげー／かっこいい」の意味で使用するのでしょうか、なぜ「すみません」は謝罪と御礼の両方で使用できるのでしょうか。私たちの日常を注意深く観察し、「ことば」や「発音」に関する素朴な疑問や不思議な現象を、音声学と言語学の観点から考えます。研究活動を通して「日本語らしさ」と「英語らしさ」についての理解を深めることを目的としています。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクションと年間計画	年間計画を立てます。 【事前学習】2 時間：「ことば」について、興味あることを口頭で説明できるように準備してくる。 【事後学習】2 時間：「ことば」について、自分自身の興味あること（調べてみたいこと）を 400 字以内でまとめておく。
第 2 回	言語研究の諸相① 音声学	「ことば」を調査・分析するための視点を概説します。この授業では、言語音声の生成と知覚を研究対象とする音声学について説明します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 3 回	言語研究の諸相② 音韻論	「ことば」を調査・分析するための視点を概説します。この授業では、母語話者の意識を+F45 研究対象とする音韻論について説明します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 4 回	言語研究の諸相③ 統語論	「ことば」を調査・分析するための視点を概説します。この授業では、発話の文法的構造を研究対象とする統語論について説明します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 5 回	言語研究の諸相④ 意味論	「ことば」を調査・分析するための視点を概説します。この授業では、単語や文の意味を研究対象とする意味論について説明します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 6 回	言語研究の諸相⑤ 語用論	「ことば」を調査・分析するための視点を概説します。この授業では、発話の意味解釈や話し手の意図を研究対象とする語用論について説明します。 【事前学習】2 時間：配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 7 回	中間まとめ	これまで説明した 5 つの分野について、それぞれの研究対象と方法論を確認します。 【事前学習】2 時間：これまでの配付資料を読み、疑問点をまとめておく。 【事後学習】2 時間：概要、論点をまとめ、次回の準備を行う。
第 8 回	日常生活における「ことば」①	興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、発表するための準備を行います。 【事前学習】2 時間：新聞データベースを使用し、興味ある言語現象に関する記事を複数準備してくる。 【事後学習】2 時間：選択した記事を詳しくまとめ、疑問点などを明らかにしておく。
第 9 回	日常生活における「ことば」②	興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、発表するための準備を行います。 【事前学習】2 時間：選択した言語現象を実例を挙げて説明できるようにし

		ておく。 【事後学習】2 時間：言語現象の説明をパワーポイントにまとめる。
第 10 回	日常生活における「ことば」 ③	興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、発表するための準備を行います。 【事前学習】2 時間：選択した言語現象と現代社会との関係、背景情報、自分自身との関係などを検討して、説明できるようにしておく。 【事後学習】2 時間：言語現象と社会との関係について、パワーポイントにまとめる。
第 11 回	日常生活における「ことば」 ④	興味ある言語現象を選択し、実例・背景情報などを調査し、発表するための準備を行います。 【事前学習】2 時間：発表のパワーポイントの全体的構成を検討しておく。 【事後学習】2 時間：発表のパワーポイントを完成させる。
第 12 回	前期研究発表会①	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第 13 回	前期研究発表会②	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直しを行う。
第 14 回	前期研究発表会③	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2 時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2 時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第 15 回	前期のまとめ	前期に学習した内容を確認すると共に、口頭発表の方法について、クラスで感想・意見・改善点等の検討を行います。 【事前学習】2 時間：前期の学習内容を見直し、疑問点などを挙げておく。 【事後学習】2 時間：口頭発表に基づく小レポートの作成を進め、完成させる。
第 16 回	後期の計画	前期に発表した内容を確認すると共に、後期の研究計画（学習計画）を立案します。 【事前学習】2 時間：前期の学習内容を見直し、疑問点などを挙げておく。 【事後学習】2 時間：文献リストの資料を準備する。
第 17 回	言語と社会① 標準語と方言	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、標準語と方言について学びます。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。

		【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 1 8 回	言語と社会② 社会言語学的要因	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、年齢、性別、職業などの社会言語学的要因について学びます。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 1 9 回	言語と社会③ 言語景観	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、言語景観と呼ばれる風景を学びます。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 2 0 回	言語と社会④ 商品のネーミング (1)	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、商品のネーミングについて、言語学・音声学の観点から検討します。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 2 1 回	言語と社会⑤ 商品のネーミング (2)	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、商品のネーミングについて、言語学・音声学の観点から検討します。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 2 2 回	言語と社会⑥ 商品のネーミング (3)	「ことば」と社会との関係を考えるための視点を取り上げます。この授業では、商品のネーミングについて、言語学・音声学の観点から検討します。 【事前学習】2 時間：文献リストの資料を読み、論点を明確にして、要約を作成する。 【事後学習】2 時間：クラスでの説明と議論に基づいて、要約を修正する。
第 2 3 回	中間まとめ	これまで説明した 4 つの項目について、各自が作成した要約に基づき、研究対象と方法論を確認します。 【事前学習】2 時間：これまでに作成した要約を見直しておく。 【事後学習】2 時間：必要に応じて要約を加筆・修正し、完成させる。
第 2 4 回	「ことば」の実態①	4 つの項目の中から興味ある言語現象をひとつ選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。 【事前学習】2 時間：自身の要約に基づき、疑問点（明らかにしたいこと）を（ある程度）明確にしておく。 【事後学習】2 時間：疑問点、言語現象、ポイントをパワーポイントまとめる。
第 2 5 回	「ことば」の実態②	4 つの項目の中から興味ある言語現象をひとつ選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。 【事前学習】2 時間：独自調査の準備を行う。 【事後学習】2 時間：独自調査した内容をパワーポイントにまとめる。

第26回	「ことば」の実態③	4つの項目の中から興味ある言語現象をひとつ選択し、独自調査を加えて口頭発表する準備を行います。 【事前学習】2時間：文献調査と独自調査の内容全体をパワーポイントにまとめる。 【事後学習】2時間：口頭発表のパワーポイントを完成させる。
第27回	後期研究発表会①	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第28回	後期研究発表会②	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第29回	後期研究発表会③	資料を配付して、パワーポイントを使用した口頭発表を行います。 【事前学習】2時間：発表者は発表の準備やリハーサルを行い、発表者でないものは、事前に配付された資料を読んでおく。 【事後学習】2時間：発表者は、質疑応答を含めた上で、今回の発表を見直し、小レポートにまとめる準備を開始する。
第30回	まとめ（総括）	年間のリサーチ活動を振り返ります。 【事前学習】2時間：リサーチ活動(計画・実行・報告・執筆)を振り返り、気づいたことをまとめる。 【事後学習】2時間：リサーチ活動に必要と思われる事柄を明らかにする。

授業形式	
授業では、言語分析の基礎となる方法論を講義形式で概説します。受講者が自身の研究課題に取り組めるように、必要な知識を正確に身に付けることに重点をおいて進めます。そして、受講者個人あるいはグループで進める研究プロジェクトを考え、興味ある事柄について調査・分析を進めてもらいます。調査分析や結果報告は演習形式で行います。調査結果を口頭発表で報告し、クラス全員で議論しながら理解を深めていく形式で授業を進めます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	30 %	0 %	40 %	30 %	100 %
評価の特記事項					
「その他」は、前期・後期それぞれにおいて行う口頭発表の完成度を評価します。					

テキスト
特定のテキストは使用しません。電子ジャーナルや書籍など授業資料のリストを配付します。
参考文献
授業中に随時紹介します。
オフィスアワー
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
私たちは毎日ことばを話し、毎日ことばを書いています。家族や友達と話すときのことばやメールに入力していることば、アナウンサーの発音、商品のネーミング、ニックネームなどを注意深く観察してみましょう。興味深い発見がたくさんあります。そのような発見を通して、コミュニケーションについての理解を深めていきたいと思います。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究（一）	クラス	
担当教員	根村 直美	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	火 3	単位区分	選
講義室	3073	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 倫理学とは、「相互尊重」を追究する学問であることを理解し、その視座から倫理的な問題を捉えることができる。 2. 倫理学のその視座が「生物学的決定論」から離床することにより成り立つことを理解することができる。 3. 倫理学に関わる具体的問題について、どのように判断しどう行動していけば「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察することができる。 4. 倫理学的知見を吸収しつつ自らの判断を形成すること、および、その判断を理性を用いて論証することの重要性を理解し、それらを実践できる。あわせて、他者の判断と論証に向き合うこと、そして、論争の解決を平和的な交渉により試みることの重要性を理解し、それらを実践できる。 対応 DP 及び CP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、現代の倫理的な諸問題についてどのように考えどう行動していけば、「相互尊重」の関係性を実現していくことができるのかを考察していく。その考察においては、ある人たちが「抑圧」されてきた様子、あるいは、「抑圧」されている様子を探っていくとともに、そうした「抑圧」がない社会をつくっていく道筋を模索していくことになる。そして、相互に尊重しあえる関係とは、それぞれが自己肯定感を持てるような関係に他ならないことを確認していく。すなわち、これまで社会的に不利な立場に置かれてきた人たちが「抑圧」に苦しむことなく生きることができるように社会を変えていこうとすることは、実は、自身が「心地よく」生きることができる社会を構築しようとするに他ならないことを確認していく。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	はじめに	本授業が、どのような問題を扱い、何をねらいとするのか理解する。また、どのように授業をすすめられるのかについて把握する。 【事前学習】2 時間 ゼミナールガイド、あるいは、シラバスを通じて、研究のねらいや学習目標について確認しておく。 【事後学習】2 時間 ガイダンスをふりかえりつつ、研究のねらいや学習目標、および、具体的な授業の流れについて確認する。
第 2 回	レポート・プレゼンテーションの基礎と形式	学術的なレポート・プレゼンテーションとはどのようなものなのか、その基礎と形式について把握する。 【事前学習】2 時間 学術的なレポート・プレゼンテーションとはどのようなものなのかについて、その基礎と形式を整理する。 【事後学習】2 時間 学術的なレポート・プレゼンテーションとはどのようなものなのかについて、その基礎と形式を確認しておく。
第 3 回	ディベートから見直すプレゼンテーション	ディベートの実例を通じて、レポートとプレゼンテーション基礎と形式を見直すとともに、議論のあり方について考える。 【事前学習】2 時間 学術的なレポート・プレゼンテーションの基礎と形式に関する基本的事情を確認しておく。 【事後学習】2 時間 ディベートの実例を通じて行った議論のあり方についての考察を整理する。
第 4 回	パワーポイントの練習	関心のある研究課題に関連したニュースを取り上げ、パワーポイントで報告資料を作成する。 【事前学習】2 時間 自身が関心をもつゼミの研究課題に関連したニュースを調べておく。 【事後学習】2 時間 自身が関心をもつゼミの研究課題に関連したニュースを基に作成したパワーポイントの資料を見直し、必要に応じ修正を行う。
第 5 回	パワーポイントによるプレゼンテーションの練習	自身が関心をもつゼミの研究課題に関連したニュースを基に作成したパワーポイントの資料を用いてプレゼンテーションの練習を行う。 【事前学習】2 時間 自身が関心をもつゼミの研究課題に関連したニュースに関するパワーポイントの報告資料を完成させておく。 【事後学習】2 時間 パワーポイントによる報告についてのゼミ内での指摘を確認し、今後参考にすべき点を整理する。

第 6 回	身体的差異と差別についての予備的考察	ゼミの研究課題に関する基礎的な知識を理解する。具体的には、「身体的差異と差別」について考察するのに必要な知識を把握する。 【事前学習】2 時間 ゼミの研究課題に関して現在自身がもっている知識について確認しておく。 【事前学習】2 時間 「身体的差異と差別」についての予備的考察について復習し理解を深める。
第 7 回	ジェンダー概念について (1)	ゼミの研究課題に関する基礎的な知識を理解する。具体的には、「ジェンダー概念」について必要な知識を把握する。 【事前学習】2 時間 「身体的差異と差別」に関する予備的考察について確認しておく。 【事前学習】2 時間 「ジェンダー概念」について復習し理解を深める。
第 8 回	ジェンダー概念について (2)	ゼミの研究課題に関する基礎的な知識を理解する。具体的には、前回に引き続き、「ジェンダー概念」について必要な知識を把握する。 【事前学習】2 時間 「ジェンダー概念」について前回学習したことを確認しておく。 【事前学習】2 時間 「ジェンダー概念」についてこれまで学習したことを復習し理解を深める。
第 9 回	研究報告と討論の練習／ 基礎知識の説明	選択した基礎的文献を通じて各自が行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。さらに、必要に応じて説明された基礎知識を理解する。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 10 回	研究報告と討論の練習／ 基礎知識の説明	選択した基礎的文献を通じて各自が行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。さらに、必要に応じて説明された基礎知識を理解する。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 11 回	研究報告と討論の練習／ 基礎知識の説明	選択した基礎的文献を通じて各自が行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。さらに、必要に応じて説明された基礎知識を理解する。 【事前学習】2 時間

		これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 1 2 回	研究報告と討論の練習／基礎知識の説明	選択した基礎的文献を通じて各自が行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。さらに、必要に応じて説明された基礎知識を理解する。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 1 3 回	研究報告と討論の練習／基礎知識の説明	選択した基礎的文献を通じて各自が行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。さらに、必要に応じて説明された基礎知識を理解する。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 1 4 回	ここまでの報告の振り返りと補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 1 5 回	ここまでの報告の振り返りと補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 1 6 回	前期授業内容の振り返りと	前期の授業内容を振り返るとともに、後期の授業が何をねらいとするのか

	後期授業内容の確認	理解する。また、どのように授業がすすめられるのかについて把握する。 【事前学習】2 時間 前期の研究内容について振り返り、後期に取り組むべき課題について考えておく。 【事後学習】2 時間 前期の振り返りを踏まえつつ、後期どのように研究をすすめるべきかを確認する。
第 1 7 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 1 8 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 1 9 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 2 0 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 2 1 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。ま

		た，その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ，各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し，補足すべき点・修正すべき点，あるいは，今後参考にすべき点を整理する。
第 2 2 回	ここまでの報告の振り返りと補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ，今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 2 3 回	ここまでの報告の振り返りと補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ，今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 2 4 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また，その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ，各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し，補足すべき点・修正すべき点，あるいは，今後参考にすべき点を整理する。
第 2 5 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また，その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ，各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し，補足すべき点・修正すべき点，あるいは，今後参考にすべき点を整理する。
第 2 6 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。ま

		た、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 2 7 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 2 8 回	研究報告と討論	決定した課題にしたがって各自で行った研究の成果を順番に報告する。また、その報告についてゼミ内での討論を行う。 【事前学習】2 時間 これまでの報告と討論を踏まえつつ、各自の課題にしたがって研究をすすめる。 【事後学習】2 時間 報告についてのゼミ内での討論を確認し、補足すべき点・修正すべき点、あるいは、今後参考にすべき点を整理する。
第 2 9 回	ここまでの報告の振り返りと 補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。
第 3 0 回	ここまでの報告の振り返りと 補足／基礎知識の説明	これまでの報告で問題を指摘された点や質問があった点について振り返り、補足の報告を行う。 【事前学習】2 時間 ゼミ内で指摘された問題や出された質問を整理し、補足説明を行えるように準備する。 【事後学習】2 時間 ここまでのゼミ内での報告と討論を踏まえ、今後どのように研究をすすめるべきかさらに検討する。

授業形式
1. アクティブ・ラーニングを行う。具体的には、履修者による報告と討論を中心とした授業を行う。 2. レポートの提出とそのレポート内容へのフィードバックを適宜行う。 3. 質問等はメールでも受け付ける。 4. 各回の具体的な内容に関しては、初回授業時に詳細な説明を行う。また、進行状況によって変更・調整を行うものとする。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	60 %	0 %	30 %	10 %	100 %
評価の特記事項					
レポートについては、本ゼミナール所属の要件（学習目標、および、ねらい）を満たすことが必要。「その他」はゼミ内での指摘を踏まえたレポート修正による加点および減点。					

テキスト
初回の授業において提示する。
参考文献
適宜、授業において提示する。
オフィスアワー
原則として、火曜日 12:20-12:50。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
1. 独りよがりの自説を述べる場ではなく、倫理的知見に基づいて自説を述べる場であることを理解して履修してください。 2. 倫理的知見を吸収することを通じ自分自身の考えを見つめ直そうとする姿勢をもって授業に臨んでください。また、異なる考えに向き合おうとする姿勢をもって授業に臨んでください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	25
担当教員	バターフィールド ジェフリー	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	3103	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
- Students will be able to understand and explain various theories about how languages emerged and evolved over time. - Students will be able to understand and explain how language, society, and culture are connected. 対応 DP 及び CP: 1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
In this seminar students will learn about the interrelationships between language, society, and culture. We will explore various theories about the origins of language and the reasons for the existence of thousands of languages. Students will learn a broad range of terminology which span several disciplines, including linguistics, anthropology, and psychology, among others. Students will be given weekly readings. They will be required to present about the readings and actively participate in class discussions.

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Course introduction	Discuss the course content, grading, and schedule, and do self-introductions. 事前学習 : 2 hours Prepare for your self-introduction. 事後学習 : 2 hours Review the syllabus and content covered in class.
第 2 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 3 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 4 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 5 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 6 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 7 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 8 回	Designated reading weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated

	reading		weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 9 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 10 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 11 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 12 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 13 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 14 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 15 回	Designated reading and summary	weekly course	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading.

			-Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 16 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 17 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 18 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 19 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 20 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 21 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 22 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha

第 23 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 24 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 25 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 26 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 27 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 28 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 29 回	Designated reading	weekly	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours -Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
第 30 回	Designated reading and summary	weekly course	Lecture, presentation, and discussion about the designated weekly reading. 事前学習 : 2 hours

		-Read the designated weekly reading. -Make a list of vocabulary, theories, etc. that you do not understand. -Prepare any questions about the reading that you may ha
--	--	--

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0%	0%	20%	80%	100%
評価の特記事項					
Active participation is required.					

テキスト
Language: The Cultural Tool by Daniel Everett (9781846682681)
参考文献
特になし
オフィスアワー
メールでアポをとること。なお、メールアドレスは授業時に表示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
You are required to read the designated weekly reading and prepare any questions about the reading that you may have.
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	27
担当教員	平木 貴子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 2	単位区分	選
講義室	3112	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本授業では、以下の能力を身につけることを目標とします。 1. スポーツ心理学の専門用語や理論の意味を理解し、説明できる 2. 自身の体験や観察をもとに様々な疑問・問題・課題をスポーツ心理学的視点からとらえることで、スポーツ・運動・身体活動場面における現象を理解できる 3. 自身の体験や観察をもとに課題を設定し、課題への理解を深めるための方法論を知り、説明できる 対応 DP および CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
「スポーツ」「身体活動」を手がかりにこころの動き、こころと身体の関連について考えていきます。自身の体験から関心のあ るテーマをみつけ、文献抄読、調査や実験、事例検討をしていきます。ゼミナールでの活動を通して、自ら課題を見出 し、主体的に課題に取り組んでいく姿勢を学んでほしいと思っています。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の内容・進め方・評価方法・受講のルール等を説明する 【事前学習】2 時間 Google Classroom への登録および連絡事項・資料を熟読の上、授業に参加すること 【事後学習】2 時間 指定されたテーマでプレゼンテーション資料の準備をはじめること
第 2 回	プレゼンテーションについて	プレゼンテーションについての講義（資料を作成するポイントやツールの使用方法など）を行う 【事前学習】2 時間 指定されたテーマについて、発表内容を決めておくこと 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成し、提出すること
第 3 回	文献抄読①	前期に読み進めるスポーツ心理学関連の書籍を選定する 他者が選んだ書籍の選定理由を確認し、前期読みすすめる書籍の決定をする 【事前学習】2 時間 スポーツ心理学関連の書籍を数冊選定しておくこと 【事後学習】2 時間 選定した書籍の準備および最初に読む章を選定理由も含めて決めておく
第 4 回	文献抄読②	選定した章を読み、発表準備を行う 【事前学習】2 時間 選定した章を熟読し、要点をまとめる 【事後学習】2 時間 章の要点をまとめ、レポートする
第 5 回	文献抄読③	選定した章の内容を発表し、提示されたテーマについてグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 レポートした内容を分かりやすく説明するための準備を行う 【事後学習】2 時間 グループディスカッションを通して得たこと（コメント、意見、新たな視点など）をレポートにまとめる。 次に読み進める章を選定する
第 6 回	文献抄読④	選定した章を読み、発表準備を行う 【事前学習】2 時間 選定した章を熟読し、要点をまとめる 【事後学習】2 時間 章の要点をまとめ、レポートする
第 7 回	文献抄読⑤	選定した章の内容を発表し、提示されたテーマについてグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 レポートした内容を分かりやすく説明するための準備を行う 【事後学習】2 時間 グループディスカッションを通して得たこと（コメント、意見、新たな視点など）をレポートにまとめる。 次に読み進める章を選定する
第 8 回	文献抄読⑥	選定した章を読み、発表準備を行う 【事前学習】2 時間 選定した章を熟読し、要点をまとめる 【事後学習】2 時間

		章の要点をまとめ、レポートする
第 9 回	文献抄読⑦	選定した章の内容を発表し、提示されたテーマについてグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 レポートした内容を分かりやすく説明するための準備を行う 【事後学習】2 時間 グループディスカッションを通して得たこと（コメント、意見、新たな視点など）をレポートにまとめる。 次に読み進める章を選定する
第 10 回	文献抄読⑧	選定した章を読み、発表準備を行う 【事前学習】2 時間 選定した章を熟読し、要点をまとめる 【事後学習】2 時間 章の要点をまとめ、レポートする
第 11 回	文献抄読⑨	選定した章の内容を発表し、提示されたテーマについてグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 レポートした内容を分かりやすく説明するための準備を行う 【事後学習】2 時間 グループディスカッションを通して得たこと（コメント、意見、新たな視点など）をレポートにまとめる。 次に読み進める章を選定する
第 12 回	文献抄読⑩	選定した章を読み、発表準備を行う 【事前学習】2 時間 選定した章を熟読し、要点をまとめる 【事後学習】2 時間 章の要点をまとめ、レポートする
第 13 回	文献抄読⑪	選定した章の内容を発表し、提示されたテーマについてグループディスカッションを行う 【事前学習】2 時間 レポートした内容を分かりやすく説明するための準備を行う 【事後学習】2 時間 グループディスカッションを通して得たこと（コメント、意見、新たな視点など）をレポートにまとめる。 次に読み進める章を選定する
第 14 回	プレゼンテーション準備	前期読み進めた書籍および関心のある研究テーマに関するプレゼンテーション資料を作成する 【事前学習】2 時間 これまでに読み進められていない章を読み、書籍紹介の準備を行う プレゼンテーションの構成を考える 【事後学習】2 時間 プレゼンテーションのアウトラインや要点をまとめておく
第 15 回	プレゼン資料の検討・前期の振り返り	プレゼンテーションのアウトラインや要点についてグループメンバーと共有し、より良い発表に向けた意見交換を行う。 前期のまとめを行う。 【事前学習】2 時間 所定の時間内にグループメンバーと情報共有できるよう整理しておく 【事後学習】2 時間 プレゼンテーション資料を作成し、提出する
第 16 回	後期授業に関するガイダンス	後期の流れ・課題について説明する 【事前学習】2 時間 関心のある研究テーマについて調べる

		【事後学習】2 時間 他者のプレゼンテーション資料を確認する
第 17 回	プレゼンテーション①	作成したプレゼンテーションを発表する 【事前学習】2 時間 他者のプレゼンテーションから学んだ点や意見などをまとめ、レポートする
第 18 回	プレゼンテーション②	作成したプレゼンテーションを発表する 【事前学習】2 時間 他者のプレゼンテーションから学んだ点や意見などをまとめ、レポートする
第 19 回	課題研究①	研究テーマを決め、研究計画を検討する 文献の調べ方や引用方法などについて講義する 【事前学習】2 時間 取り組みたい研究テーマについてまとめる 【事後学習】2 時間 研究テーマに関する文献を収集する
第 20 回	課題研究②	文献を収集し、各文献を読み進める 【事前学習】2 時間 収集した文献を文献リストにまとめる 【事後学習】2 時間 文献リストに文献の内容や知見を入力する
第 21 回	課題研究③	先行研究の要約を行い、リサーチエッション・研究目的を検討する 【事前学習】2 時間 先行研究をまとめておく 【事後学習】2 時間 リサーチエッション・研究目的を決め、レポートする
第 22 回	課題研究④	リサーチエッション・研究目的を発表する 【事前学習】2 時間 リサーチエッション・研究目的についての発表準備を行う 【事後学習】2 時間 発表時のコメントをもとにリサーチエッション・研究目的を精査する
第 23 回	課題研究⑤	研究方法を検討する 【事前学習】2 時間 精査した研究目的をもとに研究方法を考えておく 【事後学習】2 時間 研究方法を精査し、レポートする
第 24 回	課題研究⑥	研究方法を発表する 【事前学習】2 時間 研究方法についての発表準備を行う 【事後学習】2 時間 発表時のコメントをもとに研究方法を精査し、レポートする
第 25 回	課題研究⑦	精査した研究方法を報告する。研究方法に基づいてデータ収集の準備をする 【事前学習】2 時間 精査した研究方法についての発表準備を行う 【事後学習】2 時間 研究方法を決定し、データを収集する
第 26 回	課題研究⑧	データを収集・集計する 【事前学習】2 時間 収集したデータを集計する 【事後学習】2 時間 集計したデータをまとめる
第 27 回	課題研究⑨	発表スライドを作成する 【事前学習】2 時間

		発表スライドに用いる情報を整理しておく 【事後学習】2 時間 発表スライドを作成し，提出する
第 28 回	課題研究⑩	研究成果を発表する 【事前学習】2 時間 発表の予行演習を行っておく 【事後学習】2 時間 発表の際に得たこと（新しい知識・知見・視点，コメントなど）をまとめ，レポートする
第 29 回	課題研究⑪	研究成果を発表する 【事前学習】2 時間 発表の予行演習を行っておく 【事後学習】2 時間 発表の際に得たこと（新しい知識・知見・視点，コメントなど）をまとめ，レポートする
第 30 回	後期の振り返り	授業全体のまとめを行う 【事前学習】2 時間 本講義を通して学んだことをまとめておく 【事後学習】2 時間 授業での学びについて自己評価を行う

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail からも受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	30%	0%	60%	10%	100%
評価の特記事項					
・初回授業時に詳細は示します ・配布資料がある場合は必ず自分でダウンロード・アクセスしてください ・課題提出は徹底してください ・学生参加型授業であるため積極的に議論・意見・行動すること					

テキスト
特になし ※ 必要に応じて資料を Google Classroom にアップロードするので、 毎回、各自連絡事項を確認の上、ダウンロードしてください
参考文献
必要に応じて紹介します
オフィスアワー
質問は原則、メールで対応します ※ 担当教員にメールを送る時は、 件名に「教養研究（一）（受講曜日・時限）、学生番号、氏名」を明記すること
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
※ 注意事項や指示がある場合は Google Classroom で連絡します。 必ず確認するようにしてください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究（一）	クラス	
担当教員	松岡 勝男	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研 究 科 目 (教養ゼミ)
曜日・時限	金 5	単位区分	選
講義室	7044	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
『教養研究（一）』, 『教養研究（二）』, 『卒業論文』においては, 現在では純粋数学の一分野にとどまることなく, コンピュータサイエンス, OR, 化学, 生物学, 経済学, 社会学など, いろいろな分野において広く応用されている, 19 世紀から活発に研究されてきたグラフ理論を扱う。まず, 日常における“空間”の概念を数学的に定義（表現）し, 実数の性質とともに実数全体の集合（1 次元ユークリッド空間）のさまざまな数学的構造について考え, さらに n 次元ユークリッド空間 について学ぶ。続いて, グラフ理論についての多くの基礎的な概念を学ぶとともに, グラフ理論の応用の各論であるグラフの彩色, グラフアルゴリズムなどについて考える。これらの学習を通じて, 例えば, 都市間の通信網の建設費などの“最小費用の問題”について, さらに論文を読んで考察するなど, 経済学における最適化問題などに取り組む能力を養うことを目標とする。 対応 DP 及び CP : 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
この『教養研究（一）』においては, 数学の専門的な学修に向けての基礎を身につける。そのために, 前期では, 数学に限らずいろいろな分野で現れる集合と論理の一般的な基本的概念, 性質を中心に, また後期では, 数学が最初に現れる実数の世界（1 次元ユークリッド空間）において, 実数の完備性に至る実数の基本的性質について学ぶ。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	論理 (1)	命題論理, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 2 回	論理 (2)	命題の同値性, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 3 回	集合 (1)	集合と集合演算, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 4 回	集合 (2)	命題関数と術語論理, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 5 回	写像 (1)	写像の定義, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 6 回	写像 (2)	写像と集合演算, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノート を完成させる。
第 7 回	写像 (3)	全射, 単射, 全単射, について輪講する。 【事前学習】8 時間

		自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 8 回	数列の収束 (1)	収束列の定義と基本性質, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 9 回	数列の収束 (2)	収束列と四則演算, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 10 回	数列の収束 (3)	Cauchy 列の定義と基本性質, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 11 回	連続関数 (1)	連続関数の定義, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 12 回	連続関数 (2)	関数の連続性と数列の極限の関係, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 13 回	集合の対等と濃度 (1)	集合の対等の定義, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。

第 1 4 回	集合の対等と濃度 (2)	Bernstein の定理と集合の濃度, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 1 5 回	可算集合と非可算集合, ベキ集合 (1)	可算集合と非可算集合, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 1 6 回	可算集合と非可算集合, ベキ集合 (2)	ベキ集合と Cantor の定理, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 1 7 回	部分集合族, 2 項関係 (1)	部分集合族の定義と演算, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 1 8 回	部分集合族, 2 項関係 (2)	部分集合族と写像, 2 項関係, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 1 9 回	同値関係 (1)	同値類, 商集合, 商写像の定義, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え, レポートとしてのノートを完成させる。
第 2 0 回	同値関係 (2)	集合の分割と同値関係, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し, レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間

		輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 1 回	同値関係 (3)	well-definedness, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 2 回	順序関係 (1)	順序集合と上限, 下限, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 3 回	順序関係 (2)	上限, 下限の性質と実数における特徴付け, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 4 回	実数の完備性 (1)	実数における上限, 下限の存在定理, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 5 回	実数の完備性 (2)	Cantor の区間縮小法, Bortczano-Weierstrass の定理, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 6 回	実数の完備性 (3)	実数の完備性, 自然対数の底, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを作成させる。
第 2 7 回	一様連続性 (1)	一様連続性の定義と連続関数, について輪講する。

		【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 28 回	一様連続性 (2)	一様連続性と Riemann 積分, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 29 回	一様収束性 (1)	各点収束と一様収束の定義, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。
第 30 回	一様収束性 (2)	一様収束性の判定条件, について輪講する。 【事前学習】8 時間 自分が輪講する箇所を精読し、レポートとしてのノートを作成する。 【事後学習】3 時間 輪講時に指摘された箇所について訂正・修正を加え、レポートとしてのノートを完成させる。

授業形式	
○ 授業は輪講形式で行う。 ○ 質問などは授業中及び授業後に EcoLink または Gmail で受け付ける。また、質問などのフィードバックは原則として授業日中に行う。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0 %	40 %	0 %	50 %	10 %	100 %
評価の特記事項					
出席状況，受講態度，輪講発表状況及びレポート状況で総合評価する。ただし，授業に3分の2以上出席していなければ，出席状況は0とする。					

テキスト
小森洋平 著，日評ベシク・シリーズ『集合と位相』，日本評論社，2016年，2,100円（税抜）。
参考文献
講義の最初に説明する。
オフィスアワー
毎週金曜日 17:55 ～ 18:25 に Google Meet で対応します。事前に EcoLink または Gmail で申し出ること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
☐ 『基礎数理』を修得していること，あるいは『基礎数理』と同等の知識を有していることが必要である。 ☐ 積極的に輪講中に発言をすることを望む。 ☐ 30 分以上の遅刻は認めない。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	28
担当教員	村岡 哲郎	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 2	単位区分	選
講義室	3123	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 日常的に使用する認知心理学用語の意味を理解し、説明できる。 2. 私たちの身近にあるさまざまな問題を認知心理学的な視点から捉えることで、新聞や ニュースなどの緒問題を正しく理解できる。 3. 認知心理学的な考え方を理解し、認知心理学とはどのような学問なのかを説明できる。 対応 DP 及び CP:1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本講義では、認知心理学の基礎的な学修として、私たちの身近な問題に関連した実験を通して日常的に使用する認知心理学用語について解説し、認知心理学的な視点から実験結果を分析します。これによって、認知心理学とはどのような学問なのかを理解してもらい、認知心理学の基礎的知識を身につけてもらいます。

授業計画 (30 週)

[illegible]

		【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 12 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 13 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 14 回	報告と討論の実践	選択した研究課題についてグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 15 回	報告と討論の実践	研究課題についてグループで報告し、討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 16 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 17 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 18 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 19 回	研究課題の選定	研究課題候補についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題候補に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題候補について問題点を整理する。
第 20 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 21 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 22 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 23 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。

		【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 24 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 25 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 26 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 27 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 28 回	実験の実践	選択した研究課題についてグループワークをする。 【事前学習】2 時間 選択した研究課題に関する先行研究について調べておく。 【事後学習】2 時間 選択した研究課題について問題点を整理する。選択した研究課題について実験をおこなう。
第 29 回	報告と討論の実践	研究課題についてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。
第 30 回	報告と討論の実践	研究課題についてグループで報告し，討論する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し，疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 資料等により理解を深める。

授業形式	
・質問等のフィードバックは，講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	50%	0%	50%	0%	100%
評価の特記事項					
研究発表は必ずおこなうこと。					

テキスト
授業時に指示する。
参考文献
授業時に指示する。
オフィスアワー
月曜日 12:10~12:55。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお、メールアドレスは、授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
遅刻，私語など他の学生の迷惑がかかる行為は厳禁とする。十分な予習・復習に努めること。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	29
担当教員	安田 静	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	月 3	単位区分	選
講義室	7064	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術・社会に関するひと、もの、ことを研究対象として、自ら「問題をたてる」ことができるようになる、というのが最も重要な到達目標となります。 すなわち、教員から与えられた課題について考察する、という受動的な姿勢ではなく、最も興味・関心を持つ対象について、「何が問題なのか」「何を問題とすべきなのか」を見つけて、それらについて深く考察し、その結論を論理的に筋道の通った研究論文の形でまとめることが最終目標です。 対応 DP 及び CP: 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
本ゼミナールでは、フランスの文化・芸術に触れ、同時にフランスにおける様々な問題についても理解を深めてゆくことが大切な目的の一つです。そのために、座学のみに留まらず、劇場、美術館などに実際に出かけて、フィールドワークを通してより立体的な知見を獲得していただきます。 しかしながら、ゼミナール初年度の教養研究（一）ではまず何よりも先に、アカデミック・ライティングに必要な基本的スキルをしっかりと身につけていただくことが大切です。一年生の「自主創造の基礎」ゼミで扱ったレポートの作成方法や引用の仕方などはもちろん、学術的な論文の探し方をはじめ、数限りなく存在する書物や論文の中から信頼に足る価値あるものを選び、それを正しく引用して、より良い論文を執筆するためのスキルを身につけてゆきましょう。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	本ゼミナールの内容、ゼミナールの形式や評価方法などについて説明します。 また、ゼミ入室前の春休み課題レポートに簡単な講評を加えます。 【事前学習】6-8 時間 春休み中に課題をしっかりと進めておいてください。 【事後学習】2 時間 授業時の講評を参考にして、より良い内容となるようレポートをリライトしてみよう。 また、次回以降の授業で使う『論理的に書き、プレゼンする技術』を購入しておくこと。
第 2 回	春休み課題の講評とリライト	春休み課題についての講評をさらに詳細に行い、文体や形式について問題点を明らかにします。 【事前学習】2 時間 できるところまで、春休み課題をリライトしておきましょう。 【事後学習】2 時間 詳細説明に基づいて、よりアカデミックな表現になるよう、再校しましょう。
第 3 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 1 章および第 2 章：「まず書くことを決めよう」	入室試験の時点で、ゼミの 3 年間を通じて追求すべき課題がすでに大まかに決まっている方は、まだトピックが決まらない方とディスカッションを進めて、できるだけ早く全員の課題をそれぞれ決定しましょう。 【事前学習】2 時間 課題図書をよく読み、トピックを選んでテーマを設定しましょう。 【事後学習】2 時間 テーマがある程度決まったら、トピックを探しましょう。
第 4 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 3 章：「資料・情報を集めよう」	第 3 章の内容について報告していただきます。 さらに、参考文献の集め方について実習します。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、簡潔にまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 報告後修正された点やアドバイスを受けた点を踏まえて、検索・検討作業を続けましょう。
第 5 回	グループワークの実践 第 4 回内容に基づくグループワーク（第 1 回）	実際に集めた資料・情報をそれぞれのテーマに基づいて発表します。 【事前学習】2 時間 自分の研究テーマに沿った資料を収集します 【事後学習】2 時間 収集した資料のどれが研究論文の引用文献として適切で、どれが不適切なのか、問題点を整理しておきましょう。
第 6 回	グループワークの実践 第 4 回内容に基づくグループワーク（第 2 回）	集めた資料について、より詳しく吟味します。 【事前学習】2 時間 学部附属図書館だけではなく、他学部の蔵書も活用しましょう。 【事後学習】2 時間 選び出した書籍や論文の読解に取りかかりましょう。
第 7 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 4 章：「論理的なレポートを書こう」	文献内容を報告し、レポート・論文にふさわしい文体について学びましょう。また、実際に各自のテーマに沿った「あらすじ」を組み立てるとともに、選択した参考文献から、必要と思われる箇所を抜き書きしてみましょう。 【事前学習】2 時間 内容をまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 自分や他の人の報告内容への指摘を踏まえ、重要な点をまとめておきましょう。
第 8 回	グループワークの実践	授業での指摘を参考にして、取り上げるべき問題点を明らかにし、最初は

	第 7 回内容に基づくグループワーク	箇条書きで良いので、トピックをどんどん書き出してみましょう。ここで最も重要なのは、第 4 章-5「資料で見つけた事柄と自分の意見を明確に区別して書こう」という点です。 【事前学習】2 時間 トピックを書き出しておきましょう 【事後学習】2 時間 トピックの報告後、教員および他のゼミ生から指摘された点を踏まえ、練り直しておきましょう。
第 9 回	報告と討論の実践 各人のテーマについて報告し、討論する。	テーマが決まったら、問題点を明らかにし、トピックをたててゆきましょう。また、レポート全体の構成についても考えてみましょう。 【事前学習】2 時間 テーマ報告のための準備を整えましょう。 【事後学習】2 時間 報告後の指摘を踏まえて、内容をもう一度吟味し、修正しましょう。
第 10 回	『論理的に書き、プレゼンする技術』輪読 第 5 章：「プレゼンテーションをしよう」	左記の図書を参考にして文献内容に基づいて自分の考察をまとめ、報告してください。 【事前学習】2 時間 報告すべき箇所を読み、レポートにまとめておきましょう。 【事後学習】2 時間 指摘を受けた点を参照し、もう一度レポートをブラッシュアップしましょう。
第 11 回	プレゼンテーションのための準備講座	第 5 章の内容を基盤として、より良いプレゼンテーションのあり方について学びます。 【事前学習】2 時間 各自のテーマに沿ったプレゼンテーションのあらすじを準備しましょう。 【事後学習】2 時間 授業での指示内容を参考にして、プレゼンテーションを整えましょう。
第 12 回	プレゼンテーションと講評	各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員からの「評価シート」を受け取りましょう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。 【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。
第 13 回	改訂版プレゼンテーションの発表及び レポート作成に関する質問受付とその対応	前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。 【事後学習】3 時間 プレゼンテーションを基盤にして、レポートを作成しましょう。
第 14 回	レポート提出と読み合わせ	作成したレポートを共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削作業をしてゆきましょう。 【事前学習】2 時間 レポートを改訂しておきましょう。 【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。
第 15 回	レポート講評	夏休み前の最終授業となります。リライト後のレポートへ、講評を加えます。 【事前学習】2 時間 レポートの改訂作業 【事後学習】2 時間 講評後の見直し
第 16 回	後期授業のイントロダクション	後期授業の課題及び計画について説明・検討します。 【事前学習】2 時間 講評に基づき、休み前のプレゼン及びレポートのリライトを進めておきましょう。 【事後学習】2 時間

		後期授業での研究計画に沿って準備を進めます。
第 17 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 18 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 19 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 20 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 21 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 22 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 23 回	報告と討論の実践：発表者 A, B, C 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 24 回	報告と討論の実践：発表者 D, E, F 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 25 回	報告と討論の実践：発表者 G, H, I 各人のテーマについて報告し、討論する。	発表者の報告及び討論 【事前学習】2 時間 発表者はそれぞれ研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 26 回	全体への講評	全体への講評を行いますので、プレゼンテーションの準備をしましょう。 【事前学習】2 時間 各自の研究内容について調査を進めて発表準備をしてください。 【事後学習】2 時間 講評に基づき、さらに論考を進めてください。
第 27 回	プレゼンテーションと講評	各自のテーマに沿ったプレゼンテーションを行い、教員の講評及びゼミ生全員

		からの「評価シート」を受け取りましょう。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションを準備します。 【事後学習】2 時間 授業での指示事項をもとに、プレゼンテーションを練り直しましょう。
第 28 回	改訂版プレゼンテーションの 発表及び レポート作成に関する質問 受付とその対応	前回の内容を踏まえ、改訂版を発表していただきます。 【事前学習】2 時間 プレゼンテーションのブラッシュアップを行ってください。 【事後学習】3 時間 プレゼンテーションを基盤にして、レポートを作成しましょう。
第 29 回	レポート提出と読み合わせ	作成したレポートを共有設定のドライブにアップロードし、全員の協働で添削 作業をしてゆきましょう。 【事前学習】2 時間 レポートを改訂しておきましょう。 【事後学習】2 時間 授業内での指示事項をもとに、さらにリライトしておきましょう。
第 30 回	レポート講評	今年度の最終授業となります。リライト後のレポートへ、講評を加えます。 【事前学習】2 時間 レポートの改訂作業 【事後学習】2 時間 講評後の見直し

授業形式	
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。	

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	60%	0%	20%	20%	100%
評価の特記事項					
「その他」はプレゼンテーション課題です。前期と後期にそれぞれ、レポート提出とプレゼンが必須となります。					

テキスト
菊田千春他『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』東洋経済新報社，2015 年．
参考文献
授業時にその都度指示します。
オフィスアワー
授業時に指示します。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミナールは講義とは異なり，受動的な姿勢で「聞くだけ」「レポート課題を提出するだけ」では成立しません。当ゼミでは教養研究(一)の段階から，各自のテーマに沿って研究に取りかかっていますが，課題の決定過程や問題の立て方，そして実際にレポート（最終的に研究論文に取り込むもの）を執筆してゆく過程で，常に他のゼミ生と問題意識を共有し，随時ディスカッションを行って，考察を深めていく必要があります。
授業用 URL
参考 URL 1
https://www.eco.nihon-u.ac.jp/seminar/yasudashizuka/
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	30
担当教員	薮越 知子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	水 3	単位区分	選
講義室	7063	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
本講義では、以下の能力を身につけることを目指します。 1. 外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）を理解し、説明できる。 2. 外国語学習ストラテジーを自身の外国語学習に応用し、言語能力を高めることができる。 3. 学術論文を読み、調査目的、調査方法、分析結果、考察等を自分の言葉で説明できる。 4. 物事を深く考え、論理的に考えることができる。 対応 D P 及び C P 1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
どうすれば、外国語をより効果的・効率的に習得することができるのでしょうか。このゼミでは、外国語学習ストラテジー（外国語をより効果的・効率的に学ぶための方法や行動）について研究し、皆さんの外国語学習に役立ててもらいます。また、外国語学習ストラテジーに関する研究テーマを設定し、調査、分析、考察という一連の作業を通して、論理的思考力の育成もはかります。加えて、ディスカッションをかさねて、物事を深く考え、批判的に見る目も養います。 本講義では皆さんが共通して学んでいる【英語】に焦点を当てて、TOEIC スコア・アップのためのストラテジーを学びます。担当教員が提示するトピックについて、各自が情報を収集し、ストラテジーを発表してもらいます。また、実際に練習問題に取り組んで、ストラテジーの効果を実感し、TOEIC のスコア・アップをめざします。後期からは TOEIC や英語学習方略に関する研究論文や著書を読み進めて、研究テーマの設定、調査、分析の方法を学びます。論文をもとに討議をかさねて、物事を深く考え、批判的に見る目も養います。

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	イントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 ゼミナールガイドと TOEIC の公式 HP をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 2 回	TOEIC の概要	講義で使用するテキストを概観し, 発表の準備を進める。 【事前学習】2 時間 テキストとシラバスをよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 テキストの概要をよく復習し, 出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 3 回	TOEIC Part 1(写真描写問題) に関する発表と問題演習	Part 1 の問題形式, 攻略法, 学習法を発表する。その後, 問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	TOEIC Part 2 (応答問題) に関する発表と問題演習	Part 2 の問題形式, 攻略法, 学習法を発表する。その後, 問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法, 新出語彙, 文法等を復習し, リスニング訓練 (リピーティング、ディクテーション、シャドウイング等) を行う
第 5 回	TOEIC Part 3 (会話問題) に関する発表と問題演習	Part 3 の問題形式, 攻略法, 学習法を発表する。その後, 問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法, 新出語彙, 文法等を復習し, リスニング訓練 (リピーティング、ディクテーション、シャドウイング等) を行う
第 6 回	TOEIC Part 4(説明文問題) に関する発表と問題演習	Part 4 の問題形式, 攻略法, 学習法を発表する。その後, 問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法, 新出語彙, 文法等を復習し, リスニング訓練 (リピーティング、ディクテーション、シャドウイング等) を行う
第 7 回	TOEIC Part 4 (図表問題) に関する発表と問題演習	Part 4 (図表問題) の問題形式, 攻略法, 学習法を発表する。その後, 問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表

		時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，リスニング訓練（リピーティング、ディクテーション、シャドウイング等）を行う
第 8 回	TOEIC 模試: Parts 1~4	リスニングセクションの確認テストを実施する。 【事前学習】2 時間 テキストの攻略法をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 攻略法，新出語彙，文法等を復習し，リスニング訓練（リピーティング、ディクテーション、シャドウイング等）を行う。
第 9 回	TOEIC Part 5(単文穴埋め問題) に関する発表と問題演習	Part 5 の問題形式、攻略法、学習法を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，スラッシュリーディング等を行う
第 10 回	TOEIC Part 6(長文穴埋め問題) に関する発表と問題演習	Part 5 の問題形式、攻略法、学習法を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，スラッシュリーディング等を行う
第 11 回	TOEIC Part 7(読解問題：シングル) に関する発表と問題演習	Part 5 の問題形式、攻略法、学習法を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，スラッシュリーディング等を行う
第 12 回	TOEIC Part 7(読解問題：ダブル) に関する発表と問題演習	Part 5 の問題形式、攻略法、学習法を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，スラッシュリーディング等を行う
第 13 回	TOEIC Part 7(読解問題：トリプル) に関する発表と問題演習	Part 5 の問題形式、攻略法、学習法を発表する。その後、問題演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み，発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから，自分の発表時に注意すべきことをまとめる。攻略法，新出語彙，文法等を復習し，スラッシュリーディング等を行う
第 14 回	TOEIC 模試 : Parts5 & 6	Parts 5 &6 の確認テストを実施する。 【事前学習】2 時間 テキストの攻略法をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間

		攻略法, 新出語彙, 文法等を復習し, スラッシュリーディング等を行う。
第 15 回	TOEIC 模試 : Part 7	Parts 5 & 6 の確認テストを実施する。 【事前学習】2 時間 テキストの攻略法をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 攻略法, 新出語彙, 文法等を復習し, スラッシュリーディング等を行う。
第 16 回	後期のイントロダクション	講義の内容, 講義の形式, 評価方法, 履修上の注意点について説明する。 【事前学習】2 時間 Google Classroom にアップしたシラバスをよく読んでおく。夏休みの自主学習の内容を報告できるようにまとめておく。 【事後学習】2 時間 授業内容をよく復習し, 授業中に出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 17 回	前期課題の報告 1	前期課題を各自報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 修正された点や気づいた点などから, 今後注意すべき点をまとめる。
第 18 回	前期課題の報告 2	引き続き, 前期課題を各自報告する。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 修正された点や気づいた点などから, 今後注意すべき点をまとめる。
第 19 回	レポート・論文とは何かに関する発表とタスク演習	レポート・論文とは何かを発表する。その後、タスク演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	文献の調べ方に関する発表とタスク演習	文献の調べ方を発表する。その後、タスク演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	文献収集	文献収集を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 集めた文献にざっと目を通し, 後期のゼミで発表する論文を 1 本選出する。
第 22 回	文献の読み方まとめ方に関する発表とタスク演習	文献の読み方まとめ方を発表する。その後、タスク演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	レポート・論文の作り方に関する発表とタスク演習	レポート・論文のを発表する。その後、タスク演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み, 発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから, 自分の発表

		時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	プレゼンテーションに関する発表とタスク演習	プレゼンテーションのポイントを発表する。その後、タスク演習を行う。 【事前学習】2 時間 テキストの該当箇所をよく読み、発表者は発表資料を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が発表して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	論文報告の準備	各自で担当する論文を概観し、発表の準備を進める。 【事前学習】2 時間 論文をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 論文の内容をよく復習し、出てきたキーワードを説明できるようにしておく。
第 26 回	論文報告 1	各自で選択した論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	論文報告 2	引き続き、各自で選択した論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	論文報告 3	引き続き、各自で選択した論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	論文報告 4	引き続き、各自で選択した論文の報告を行う。 【事前学習】2 時間 報告内容をまとめる。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分の発表時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	まとめと Q/A	これまでの総括をし、各自の研究テーマを明確化する。 【事前学習】2 時間 これまでの発表資料をよく読んでおく。 【事後学習】2 時間 今後の研究課題を整理する。

授業形式
・質問等のフィードバックは、講義内で行います。 ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	0%	40%	40%	100%
評価の特記事項					
参加，発表・討議，課題提出で総合的に評価します。年間欠席回数が6回に達した場合は単位を認定しません。2回遅刻すると1回の欠席とみなします。					

テキスト
成重寿・松本恵美子（著）『TOEIC TEST 全パートまるごとスピードマスター』リサーチ出版，1,400 円＋税 松本茂・河野哲也（著）『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法（改訂第二版）』玉川大学出版部，1,500 円＋税
参考文献
授業中に指示する。
オフィスアワー
水曜日 12：20～12：50。事前に授業後またはメールでアポをとること。なお，メールアドレスは，授業時に指示する。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
欠席する場合は，必ず担当教員に連絡してください。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL 2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	31
担当教員	山岸 郁子	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 3	単位区分	選
講義室	3093	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
ゼミナールのテーマは「日本近代文学とメディア」である。表象文化が新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・インターネットなど様々なマス（大量）メディアとジャーナリズムとの関係性の中で生成された過程をとらえなおし，分析・批評する力を身につけることができる。研究対象は文学作品に限らず，映像作品，漫画，音楽，演劇，広告表現など広範囲にわたる。ゼミではディスカッションを重視し，コミュニケーション能力を高めることができる。 対応DP及びCP：1, 2, 6, 7, 8
授業概要（教育目的）
1.文学作品をめぐるさまざまなメディア（新聞・雑誌・書籍・電子書籍他）について，個別に作品を選び分析，発表し，内容を理解する。 2.近代という視覚革命がもたらした表象文化の展開という側面から映像メディア等について分析，発表し，内容を理解する。 3.現代性を浮かび上がらせている表現（音楽・漫画などジャンルを問わない）を検証し，その個別性について考察する。 1～3の中から各自作品・テーマを決定し，レジュメやpptを使用して60分の個人発表を行う。またグループで研究テーマを決め，それに即した調査を行い，発表し，より研究を深化させる。

授業計画（30 週）

回	項目	内容
第 1 回	ガイダンス	予め資料をダウンロードし、「近代文学とメディア」というゼミの授業方法を理解する。研究課題についてグループで話し合う。 【事前学習】2 時間 資料を読む。 【事後学習】2 時間 授業内容を基に研究課題を検討する。
第 2 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 3 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 4 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 5 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 6 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 7 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 8 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 9 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 10 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。

第 11 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 12 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 13 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 14 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 15 回	前期のまとめ	前期の課題を振り返り、課題点をグループでまとめ発表する。 【事前学習】2 時間 課題について要点を整理し、疑問点を抽出しておく。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 16 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 17 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 18 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 19 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 20 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 21 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。

		【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 22 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 23 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 24 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 25 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 26 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 27 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 28 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 29 回	報告と討論の実践	研究課題のテキストや映像を各々事前学習をし、プレゼンテーション（60 分）をもとに質疑応答・ディスカッションを行う（30 分）。 【事前学習】2 時間 課題について考察し、レジュメと PPT を作成する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、自分のレポート作成時に注意すべきことをまとめる。
第 30 回	総括	1 年間の課題を振り返り、課題点をグループでまとめ発表する。 【事前学習】2 時間 一年間の課題を整理する。 【事後学習】2 時間 自分や他の人が報告して修正された点や気づいたことなどから、次年度に向けて注意すべきことをまとめる。

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	0.3	0%	0.6	0.1	100%
評価の特記事項					
ゼミでの発表や質疑応答のほか，ゼミで分担した係（司会やコメンテーターなど）を遂行しているかどうか総合的に判断する。					

テキスト
適宜指示する。
参考文献
適宜指示する。
オフィスアワー
水曜日 14 時 40 分～16 時 10 分 ※メールにて必ずアポイントをとること。
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
ゼミは表現の「しくみ」について，書籍・映像・広告・音楽などを通して探る場所です。どのように表現されているのかを探求し，自分の言葉でそれを説明するのが目標であって，そこに 1 つの「正解」があるわけではありません。考える訓練を積み重ねることによって，自分を取り囲む世界を観察するための見方や，自分の言葉で表現する力が鍛えられます。課題について必ず事前学習をしてゼミに臨んで下さい。また事後学習は「評価シート」をもとに自分の理解度を確認し，次の課題に取り組むための参考として下さい。 授業用 classroom は第 1 回目授業でお知らせします。
授業用 URL
参考 URL 1
参考 URL2

科目情報

科目名	教養研究(一)	クラス	35
担当教員	リチャード パウエル	実務経験のある教員 による授業科目	
学年	2 年	科目種別	
開講学期	通年	ナンバリング	
開講時期	通年	科目区分	研究科目(教 養ゼミ)
曜日・時限	金 4	単位区分	選
講義室	7055	単位数	4
準備事項			
備考			

講義情報

学習目標（到達目標）
①言語，社会，文化について書かれた英文を読み進めることができる。 Students will be able to comprehend reading materials regarding language, society, and culture, and to develop reading skills. ②異文化・日本文化についての理解を深めることができる。 Students will be able to expand their knowledge of intercultural communication and multicultural societies, including Japan. 対応 DP 及び CP:1,2,6,7,8
授業概要（教育目的）
経済的側面に焦点をあてて，時事問題を英語で学びます。読解力を向上させるとともに，授業中に取り上げた話題に関して，自分自身の考えを発展させることを目的とします。 This class focuses on current issues in politics and economics in Japan and around the world. Students are expected to improve reading skills and develop ideas about the topics covered in class.

授業計画 (30 週)

回	項目	内容
第 1 回	Introduction Survey and Information Exchange, Create Profile Homework: (p.1-2, 5) Log in to Google Classroom	Cultural Identity Profile, Introductory Questions, Picture description and analysis Read p. 1-4
第 2 回	What is Culture? Definition, model, framework	Cultural models, definition, examples Levels of culture, cultural awareness Read p. 5-9
第 3 回	Identity & Membership Experiences and networks	Groups and communities, experience and perspective Read p. 10-15
第 4 回	Identity & Membership Communities, roles & responsibilities	Family, age, names and identity Read p. 16-19
第 5 回	Values & Perspectives Attitudes, Perceptions, Stereotypes	Perspectives, Values, Proverbs, Meaning Read p. 20-23
第 6 回	Values & Perspectives Values, role models, media, bias	Stereotypes, Morals, Ethics and Justice Read p. 24-27
第 7 回	Perceptions & Perspectives Rules, Laws and Responsibility	Perceptions and Processing Information Riddles, Illusions, Stereotypes Read p. 28-33
第 8 回	Culture as Perspective We see what we want to see...	Multiculturalism, Nationalism Read p. 31-38, 41-45
第 9 回	Culture as Perspective Common sense and core values	Country Comparison and Presentation, Case Studies Read p.
第 10 回	Globalization Demographics, Nationalism, Trade	Global Village, Quality of Life Analysis Read p. 46-51
第 11 回	Globalization Media and Marketing Analysis	Marketing and Media, Minority Cultures Read p. 52-55
第 12 回	Economics and Marketing Branding and Advertising Homework: (p. 60, 64, 65) Marketing Project (p.164)	Historical figures and events Read p. 56-59
第 13 回	Media and Marketing Media and Marketing Analysis Homework: (p.69, 70)	Biography project and comparison, Influential East and West Read p. 60-63
第 14 回	Summary and Review	Country Comparison

		Read p. 38-40
第 15 回	Summary and Presentation	Country Comparison Read p. 38-40
第 16 回	Beliefs	My beliefs, World Religions Read p. 64-70
第 17 回	Beliefs	Research, comparison and presentation, Superstitions Read p. 71-75
第 18 回	Conflict	War and Peace, Terrorism Read p. 76-79
第 19 回	Conflict	Global Economics Read p. 80,81
第 20 回	Language & Communication	Intercultural and Non-verbal Communication Read p. 82-91
第 21 回	Language & Communication	Language Analysis, Speech Acts, Humor Read p. 92-101
第 22 回	Community & Society	Marriage, Education, Work, Leadership Read p. 102-105
第 23 回	Community & Society	Taboos, Crime and Punishment Read p. 106-109
第 24 回	Beauty & Aesthetics	Cultural Beauty, Universal Beauty Read p. 110-112
第 25 回	Beauty & Aesthetics	Fashion, Art, Architecture and Music Read p. 113-117
第 26 回	Technology & Innovation	Technology and Innovation, Progress Read p. 118,119
第 27 回	Technology & Innovation	The Information Age Read p. 120-123
第 28 回	The Future	Tragedy of the Commons & The Malthusian Trap Read p. 124,125
第 29 回	The Future	Population, Resources and Environment Read p. 126,127
第 30 回	Conclusion	Reflection, Research Methods, Ethnography Presentation and Writing Strategies, Notes Read p. 128-131

授業形式

- ・質問等のフィードバックは、講義内で行います。
- ・質問等は EcoLink または Gmail から受け付けます。

評価方法

授業期間試験	レポート	小テスト	授業への参画度	その他	合計
0%	20%	10%	40%	30%	100%
評価の特記事項					
Evaluation is based on attendance, participation and submission of assignments and textbook.					

テキスト
Culture Studies Handbook, Andrew Reimann ISBN: 978-4-9907682-6-3
参考文献
オフィスアワー
Contact for appointment anreimann@yahoo.com
学生へのメッセージ（事前・事後学習の内容など）
Students should have the textbook before class and pre-read the first 10 pages. Class will be conducted live and on demand using Zoom and Google Classroom.
授業用 URL
https://classroom.google.com/c/MzEwNzAyMTQ5MjU4?cjc=bvnppwg
参考 URL 1
参考 URL2